

医 と 社 会

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育支援センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

がん患者などのターミナルケアなどの医療場面では、たびたび対応が難しい場面に遭遇する。このような状況でのがん患者などへのインフォームドコンセントの取り方及び患者や家族の心の葛藤及びケアについて学ぶ。大学病院及び地域医療におけるターミナルケアの現状及び取り組みについても学ぶ。また、コア・カリキュラムにもあげられているリスクマネジメント、医療事故及び医療法制、死生学を取り上げる。臨床の現場では、医療事故を如何に防止するかについて安全管理に関する心構えを身に付けかつ倫理面を認識した上での医事法制を学ぶ。また、地域包括ケアシステムを理解し、診療機具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

がん患者やその家族の心の葛藤及びケアについて学ぶとともに、医師としてのがん患者やターミナルケアにおける実際の接し方を教授する。また大学病院及び地域医療でターミナルケアがどのように実践されているかを講義する。その他ターミナルケアが必要ながん患者へのインフォームドコンセントの行い方を模擬患者を使って経験する。

また、医療マネジメント、医療事故に関し具体例をあげ、医療リスクマネジメントの実際を学ぶ。さらに医師にとって重要である医療情報のITとその安全管理や医事法制についても法律の専門家による講義を予定する。医師にとって必要な法的側面及び倫理観、宗教観からみた死生学について講義する。また、診療マナー、バイタルサインの取り方、超音波や心電計等の基本的操作を学ぶ。

3. 教科書、参考書等

特に指定しない。医療マネジメント、医事法制などの出版物は少なくない。必要に応じて各講義で紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

医育支援センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永

麻酔科：北條 美能留

細胞療法部：長井 一浩

救命救急センター：山下 和範

保健学科：大西 真由美

歯学部：藤原 卓

非常勤：江崎 宏典（長崎医療センター）

非常勤：児島 達美（長崎純心大学人文学部）

非常勤：永田 耕司（活水女子大学）

非常勤：浅野 直人（福岡大学法学部）

非常勤：福田 浩久（弁護士）

非常勤：早島 理（滋賀医科大学名誉教授）

非常勤：貝沼 茂三郎（九州大学）

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、石居公之、植木郁子、
牟田久美子、松坂雄亮、濱口由子

医と社会授業予定(4年生前期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	金	4	途上国における国際保健	保健学科・大西	第4
4	11	金	4	医療リスクマネジメント (保健学科と共修)	非常勤・江崎	第4
4	18	金	4	大学病院における緩和ケア (保健学科と共修)	麻酔科・北條	第4
4	25	金	4	死生学	非常勤・早島	第4
5	2	金	4	がん患者と家族	非常勤・児島	第4
5	9	金	4	災害医療	救命センター・山下	第4
5	16	金	4	医事法制	非常勤・浅野	第4
5	23	金	4	医療安全1 医療の質と安全の確保	細胞療法部・長井	第4
5	30	金	4	(がん)患者とのコミュニケーション	非常勤・永田	第4
6	6	金	4	法社会と医療	非常勤・福田	第4
6	13	金	4	医療安全2 医療情報におけるITと安全管理	歯学部・藤原	第4
6	20	金	3	総括	医育支援センター	第4
			4	漢方について	非常勤・貝沼 地域医療学	第4
6	27	金	3	講義及び診療の心得	医育支援センター、 地域医療学、地域包 括ケア教育センター	第4
			4			

脳・神経系

責任者	氏名	川上 純	内線	7262
	教室		e-mail	atsushik@nagasakiu.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Diseases of Nervous System		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

人間の脳・神経系は巧みに構築された高次構造・ネットワークによって機能している。神経疾患は、種々の原因（先天異常・遺伝子異常・感染症・炎症・外傷・血管障害・腫瘍・脱髄・変性・免疫異常など）に基づいたこれらの異常によって生じてくる。脳・神経系は中枢神経・末梢神経・神経筋接合部・筋に分けられるが、それらの場において、多種多様な病因・病態が存在する。脳・神経系の教育目標・方針は、神経学に必要な基礎的領域をもとに、神経疾患をSystematicに学ぶことにある。

2. 授業内容（講義・実習項目）

全57時間のうち、神経内科学24、脳神経外科学15、小児神経学9、整形外科6、精神神経学3時間から、構成されている。まず、神経学総論は、解剖学・生理学などの基礎的知識をもとに全ての神経系を網羅し、主として神経内科学が担当して行われる。加えて小児神経学の立場から、発達神経学の基礎知識の修得、精神神経学より知能についての講義が行われる。更に、神経診断学を含めた神経学的検査法が、神経内科学、脳神経外科学的立場より講義される。神経学各論では、個々の機能的、器質的疾患に関して、神経内科、脳神経外科、小児神経、整形外科、精神神経科学的領域よりそれぞれ講義される。

3. 教科書、参考書等

必要に応じてプリントを配布する。

書名	著者	出版社	定価
★神経内科学	第一内科神経グループ		1,000 円
★Pediatric Neurology	Swaiman	Mosby	
★標準整形外科学	広畑和志他	医学書院	8,700 円
★ニュースタンダード 脳神経外科学	生塩之敬, 種子田護, 山田和雄	三輪書店	7,350 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験。

5. 教員名

第一内科：白石裕一、中嶋秀樹、中村龍文（非常勤）、本村政勝（非常勤）、佐藤聡（非常勤講師）、木下郁夫（非常勤講師）、長郷国彦（非常勤講師）、中根俊成（非常勤講師）

脳卒中センター：辻野彰、立石洋平

脳神経外科：松尾孝之、角田圭司、林健太郎、出雲剛、平尾朋仁

馬場啓至（非常勤講師）、栗原正紀（非常勤講師）、田渕和雄（非常勤講師）

小児科：津留陽（非常勤講師）、里龍晴

整形外科：梶山史郎、田上敦士

精神神経科：小澤寛樹、今村明

6. 備考（準備学習等）

講義ごとに学習テーマを呈示する。

脳・神経系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	木	4	神経学総論	神経系の構成・神経病の診断 大脳半球の機能局在・高次機能	非常勤・本村	第3
4	4	金	2	神経学総論	間脳、脳神経、脳幹	非常勤・本村	第3
4	7	月	2	神経学総論	小脳の機能と障害 脊髄機能・運動麻痺・歩行障害	第一内科・白石	第3
4	10	木	4	神経学総論/神経学的検査	大脳基底核と錐体路、感覚障害意識障害・髄膜刺激症状・脳圧亢進症状 神	第一内科・白石	第3
4	14	月	1	感染疾患	ウイルス感染	非常勤・中村	第3
4	14	月	2	変性疾患/中毒	脊髄の変性疾患 農薬 重金属 有機溶媒 薬剤等による中毒	第一内科・中嶋	第3
4	17	木	4	脱髄性疾患	脱髄性疾患総論	非常勤・中根	第3
4	21	月	1	感染免疫疾患	細菌性疾患 その他の感染症	非常勤・中村	第3
4	21	月	2	脳腫瘍	急性期頭部外傷 (I)	脳外科・松尾	第3
4	24	木	4	てんかん (a)	てんかんの外科的治療	非常勤・馬場啓至	第3
4	28	月	1	脳血管障害	脳血管疾患総論・脳血管疾患病態生理	脳卒中センター・立石	第3
4	28	月	2	脳血管障害	画像診断・脳血管疾患各論	脳卒中センター・辻野	第3
5	1	木	4	頭部外傷	急性期頭部外傷 (I)	脳外科・平尾	第3
5	8	木	4	神経学的検査/先天異常・発育障害	神経学的検査 水頭症 その他	脳外科・角田	第3
5	12	月	1	頭部外傷	急性期頭部外傷 (II) ・頭部外傷合併症	脳外科・平尾	第3
5	12	月	2	脳血管障害	これからの脳卒中リハビリテーション	非常勤・栗原	第3
5	15	木	4	脳血管障害	虚血性脳血管障害	脳外科・林	第3
5	19	月	3	脳腫瘍	脳腫瘍総論	脳外科・松尾	第3
5	19	月	4	脳神経外科概論	脳科学と脳外科臨床のかかわり	非常勤・田淵	第3
5	22	木	4	脳血管障害	出血性脳血管障害	脳外科・出雲	第3
5	26	月	3	脊椎・脊髄疾患	脊髄の生理・解剖	整形外科・田上	第3
5	26	月	4	てんかん (b)	遅発性 (非小児期) 発症てんかん てんかんと精神症状	精神科・今村	第3
5	29	木	4	神経筋接合部疾患	神経筋接合部構造と機能 電気生理学各論	第一内科・本村	第3
6	2	月	3	小児発達総論	神経系の発達と精神運動機能 小児神経学的診察	非常勤・津留	第3
6	2	月	4	小児神経各論①	フロッピーインファント	非常勤・津留	第3
6	5	木	4	変性疾患	大脳の変性疾患	非常勤・中根	第3
6	9	月	3	小児神経各論①～②	小児てんかんの診断治療と基礎疾患	小児科・里	第3
6	9	月	4	小児神経各論②	小児てんかんの診断・治療	小児科・里	第3
6	12	木	4	変性疾患	小脳の変性疾患 その他	非常勤・中根	第3
6	16	月	3	小児神経各論②	小児脳変性疾患	非常勤・津留	第3
6	16	月	4	小児神経各論②	小児の急性脳症	非常勤・津留	第3
6	19	木	4	知能低下	知能の定義・測定法・因子構成 知能低下の諸様相	精神科・小澤	第3
6	23	月	3	脊椎・脊髄疾患	頸椎, 頸髄疾患 胸椎, 胸髄疾患	整形外科・田上	第3

脳・神経系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	23	月	4	末梢神経(a)	末梢神経障害の病態生理 電気生理学 末梢神経疾患 各論	非常勤・長郷	第3
6	26	木	4	筋疾患・麻痺性疾患/ 末梢神経(b)	筋疾患, 麻痺性疾患の診断と治療 末梢神経の解剖, 生理とその診断治療	整形外科・梶山	第3
6	30	月	3	脊椎・脊髄疾患	腰椎疾患	整形外科・田上	第3
6	30	月	4	ミオパチー	ミオパチーの病態生理 電気生理学 ミオパチー疾患 各論	非常勤・佐藤聡	第3
7	3	木	4	内科疾患に伴う神経 疾患/頭痛/自律神経 の疾患	内科疾患に伴う神経疾患 頭痛の分 類・病態生理・各論 神経痛 自律神 経系の疾患総論・各論	非常勤・木下	第3

運 動 系

責任者	氏 名	尾崎 誠	内 線	7321
	教 室	整形外科 (構造病態整形外科)	e-mail	mosaki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00~18:00		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Musculo-skeletal system, lecture		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

四肢、脊椎、顔面等の運動器では、炎症、変性、腫瘍、外傷、先天異常、代謝疾患、血行障害など数多くの疾患が生じる可能性を含んでいる。これらの疾患を理解するためには、骨・関節系統のみならず神経・筋系統の広範な領域にわたる正常の機能を把握する必要がある。これらの疾患の治療目的は、生命の維持と疾患の予防ならびに機能確保・機能再建である。

学生諸君には運動器疾患の基礎として骨・関節・筋・神経の生理・代謝・構造の理解を求める。次に種々の検査法を含めた診断学、さらに治療学の概略ならびに各部位別の疾患とその治療法につき理解を求める。また急性疾患では適切な救急処置が出来るよう教育する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

主にプリントとスライドによる講義である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準整形外科学	中村利孝・内田淳正ほか	医学書院	9,870 円
整形外科サブノート	東 博彦ほか	南江堂	5,460 円
標準形成外科学 第5版	秦 維郎・野崎幹弘 編集	医学書院	7,140 円
TEXT 形成外科学 第2版	波利井清紀 監修	南山堂	6,300 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験（出題範囲は講義内容と上記教科書）
評価には出席日数を考慮する

5. 教員名

整形外科：尾崎誠、富田雅人、米倉暁彦、宮本俊之、宮本力、宮田倫明、小関弘展
穂積晃、梶山史郎、木寺健一、松林昌平、田上敦士、安達信二
福島達也、田口憲士、千葉恒、津田圭一

形成外科：平野明喜、田中克己

6. 備考（準備学習等）

解剖学、生理学、生化学等の基礎的知識を整理しておくこと。

運動系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	2	水	3	運動系総論（1）	総論、歴史	整形・尾崎	第3
4	7	月	3	運動系総論（2）	診断学	整形・木寺	第3
4	7	月	4	運動系総論（3）	治療学	整形・千葉	第3
4	9	水	3	上肢の疾患（1）	肘関節・手関節	整形・松尾	第3
4	14	月	3	手の外傷	手・指の機能解剖と手の外傷	形成・田中	第3
4	14	月	4	下肢の疾患（1）	膝関節・足関節・足趾	整形・米倉	第3
4	16	水	3	顔面外傷	顔面外傷総論；軟部組織損傷・顔面骨骨折	形成・平野	第3
4	21	月	3	運動系総論（4）	骨・軟骨の生理と病理	整形・宮田	第3
4	21	月	4	腫瘍性疾患（1）	良性骨軟部腫瘍	整形・宮田	第3
4	28	月	3	脊椎（1）	総論	整形・安達	第3
4	28	月	4	脊椎（2）	外傷	整形・安達	第3
4	30	水	3	脊椎（3）	各論（A）	整形・津田	第3
5	7	水	3	脊椎（4）	各論（B）	整形・津田	第3
5	12	月	3	腫瘍性疾患（2）	骨軟部腫瘍；診断学	整形・富田	第3
5	12	月	4	腫瘍性疾患（3）	悪性骨軟部腫瘍	整形・富田	第3
5	14	水	3	リハビリ（1）	リハビリ（総論）	整形・小関	第3
5	19	月	1	炎症性疾患（1）	関節リウマチ	整形・宮本 力	第3
5	19	月	2	炎症性疾患（2）	リウマチ類似疾患	整形・宮本 力	第3
5	26	月	1	骨・関節の外傷（1）	外傷総論	整形・宮本 俊之	第3
5	26	月	2	骨・関節の外傷（2）	下肢の外傷	整形・田口	第3
5	28	水	3	リハビリ（2）	リハビリ（各論）	整形・小関	第3
6	2	月	1	上肢の疾患（2）	肩関節	整形・梶山	第3
6	2	月	2	骨・関節の外傷（3）	上肢の外傷	整形・福島	第3
6	4	水	3	下肢の疾患（2）	股関節（成人）（A）	整形・穂積	第3
6	9	月	1	下肢の疾患（3）	小児股関節疾患	整形・松林	第3
6	9	月	2	炎症性疾患（3）	骨・関節の感染症	整形・千葉	第3
6	11	水	3	下肢の疾患（4）	股関節（成人）（B）	整形・穂積	第3

1校時 8:50～10:20
 2校時 10:30～12:00
 3校時 13:00～14:30
 4校時 14:40～16:10

消 化 器 系

責任者	氏名	中尾一彦	内線	7481
	教室	消化器内科	e-mail	kazuhiko@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日 午前8:30~12:00		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Digestive disease		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

消化器系は口腔・唾液腺に始まり、食道・胃・小腸・結腸・直腸・肛門に至る消化管系と肝臓、胆嚢、胆管、膵臓よりなる肝胆膵系に大別される。消化器の病理、症状、検査、内科的消化器疾患、外科的消化器疾患、手術法などを統合包括的に把握し、消化器疾患における基礎的、臨床的な基本的知識を理解、修得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

消化器系を消化管系と肝胆膵系に大別し、それぞれを病理学、内科学、外科学の順に講義を進行させる。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
1. 消化器病（胃・腸・食道） 分子カプセルから病態・診断・治療まで	菅野健太郎 日比紀文 星原芳雄] 編	羊土社	6,700 円
2. 図説病態内科講座 消化管2	矢崎義雄 編	Medical View	22,000 円
3. 消化器内視鏡診断テキスト 第1巻：食道・胃・十二指腸 第2巻：小腸・大腸	竹本忠良 長廻 紘] 編	文光堂	6,500 円 6,500 円
4. 外科病理学 第4版	向井 清 真鍋俊明 深山正久] 編	文光堂	40,000 円
5. 内科学書（全2冊）	島田 馨 編	中山書店	25,000 円

4. 成績評価の方法・基準

試験は筆答試験と病理実習試験をもって行う。筆答試験は病理、内科、外科がそれぞれの担当時間数に応じて配分された点数をもって出題する。各科目の総点を1000点とし、最終的に100点として評価を行う。

5. 教員名

原研病理：中島、三浦
消化器内科：中尾、竹島、市川、大仁田、田浦、塩澤、宮明、三馬、赤澤、柴田、本田、松島、南、石居
光学医療診療部：磯本、山口
第一外科：七島、阿保、荒井
第二外科：金高、藤田、虎島、米田
非常勤講師：八橋 弘、宿輪三郎

6. 備考（準備学習等）

出欠チェックは1コマ毎に行う。出欠状況は成績に反映する。

消化器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	2	水	4	上部消化管－構造機能	食道・胃	光学 磯本	第3
4	8	火	3	消化管ホルモン	消化管ホルモン	消内 赤澤	第4
4	8	火	4	食道疾患	先天異常、憩室、炎症、腫瘍性疾患など	消内 南	第4
4	9	水	4	下部消化管－構造・機能	小腸、大腸、先天性異常など	消内 竹島	第3
4	15	火	3	胃・十二指腸疾患	胃・十二指腸疾患	光学 磯本	第4
4	15	火	4		胃癌など		第4
4	16	水	4	上部消化管－症候	腹痛など	消内 松島	第3
4	22	火	3	小腸疾患	小腸疾患、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症	消内 赤澤	第4
4	22	火	4	消化管の内視鏡検査と治療	(特別講義)	宮崎病院 宿輪	第4
4	30	水	4	下部消化管-症候論、機能性疾患	下血、便通異常、脂肪便、過敏性腸症候群など	消内 竹島	第3
5	7	水	4	大腸疾患（炎症）	炎症性腸疾患（IBD）、虚血性腸炎、腸型ペーチェット病など		第3
5	13	火	3	癌取扱い規約	食道・胃	原病 三浦	第4
5	13	火	4		大腸		第4
5	14	水	4	大腸疾患（炎症）	感染症腸疾患、憩室、放射線照射性腸炎、MPSなど	消内 竹島	第3
5	27	火	3	大腸疾患（腫瘍）	ポリープ、ポリポースなど	光学 山口	第3
5	27	火	4	大腸疾患（腫瘍）	癌、カルチノイド腫瘍など		第3
5	28	水	4	全身性疾患と消化管	膠原病、アミロイドーシス、血液疾患など	光学 磯本	第3
6	3	火	3	消化管（外科的疾患）	概念と疾患群など	外2 金高	第3
6	3	火	4	腸管外科的疾患	小腸・大腸 先天異常	外2 藤田	第3
6	4	水	4	食道・胃・十二指腸手術術式	食道損傷など 食道	外2 米田	第3
6	10	火	3	食道・胃・十二指腸手術術式	胃・十二指腸	外2 米田	第3
6	10	火	4	腹壁疾患 直腸・肛門の疾患	外傷など	外2 虎島	第3
6	11	水	4	肝	正常組織・生理機能	消内 中尾	第3

消化器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	17	火	3	肝	先天異常	消内 中尾	第4
6	17	火	4		病態生理		第4
6	18	水	3	肝	肝癌、肝良性腫瘍	消内 田浦	第3
6	18	水	4				第3
6	24	火	3	肝	急性肝炎（特別講義）	長崎医療センター 八橋	第4
6	24	火	4		慢性肝炎（特別講義）		第4
6	25	水	3	肝	静脈瘤、非硬変性門亢症	消内 三馬	第3
6	25	水	4	病理の要点	肝胆膵	原病・中島	第3
7	1	火	3	外科的疾患	胆道系の外科	外1 七島	第4
7	1	火	4	膵	膵内分泌腫瘍	外1 荒井	第4
7	2	水	3	外科的疾患	膵臓の外科	外1 七島	第3
7	2	水	4		肝臓疾患の外科		外1 阿保
7	8	火	3	外科的疾患	肝臓手術、肝移植	外1 阿保	第4
7	8	火	4	胆膵疾患	主要症候と検査	消内 大仁田	第4
7	9	水	3	消化器疾患	消化器癌の化学療法	消内 塩澤	第3
7	9	水	4	膵疾患	膵炎など	消内 大仁田	第3
7	10	木	4	肝	肝不全	消内 市川	第3
7	15	火	3	胆道疾患	炎症・結石	消内 大仁田	第4
7	15	火	4		胆道癌、膵癌など		第4
7	16	水	3	肝	胆管癌、転移性肝癌	消内 本田	第3
7	16	水	4		代謝性肝疾患(NASH、ASHなど)、薬剤性 1	消内 宮明	第3
7	17	木	3	肝	HEV、肝炎ウイルス以外のウイルスと寄生虫膿瘍などの感染症	消内 柴田	第3
7	17	木	4		代謝性肝疾患(NASH、ASHなど)、薬剤性 2	消内 宮明	第3

腎 泌 尿 器 系

責任者	氏名	酒井英樹	内線	7340
	教室	腎泌尿器病態学 (泌尿器科学)	e-mail	hsakai@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:00～17:00 (火曜日) 泌尿器科医局		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Nephro-urology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：小児から高齢者まで、すべての年齢層を対象にした腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解する。

方法：生理学、腎臓内科学、小児科学、泌尿器科学の各分野が分担して講義を行う。

到達目標：1) 腎・泌尿器の構造と機能を理解し、異常所見を識別できる一特に腎の生理と排尿の生理を理解することが重要である。2) 腎・泌尿器系疾患の主要症候を理解し、鑑別疾患を挙げることができる。3) 腎・泌尿器系の検査法を理解し、診断へ応用できる。4) 各疾患の治療法を概説できる。また、小児と成人の差違、内科的あるいは外科的治療の差違について説明できる。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

まず、体液の恒常性維持における腎の機能について学び、次に腎・泌尿器系疾患の病態、症候、検査、診断および治療について系統的に講義する。この系で学ぶ主要な疾患は、腎不全、糸球体疾患、ネフローゼ症候群、尿細管間質病変、高血圧・腎血管病変、全身性疾患に合併した腎病変、小児の腎疾患、外科的処置や手術を必要とする腎・尿路系疾患 (腫瘍、結石、外傷)、排尿障害および尿路感染症などである。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
エッセンシャル腎臓内科学	富野康日己 編	医歯薬出版	5,000 円
ダイナミックメディスン6巻	下条文武・斉藤康	西村書店	3,800 円
講義録 泌尿器科学	荒井陽一 小川 修 編	メジカルビュー	6,000 円
Smith's General Urology	Emil Tanagho	Lange	8,000 円
Renal disease: classification and atlas of glomerular disease.	Churg/Bernstain/ Glassock	IGAKU/SHOIN	23,900 円
小児腎臓病学	日本小児腎臓病学会編	診断と治療社	10,290 円
図解腎臓内科学テキスト	富野康日己 編	中外医学社	7,600 円

4. 成績評価の方法・基準

前期末に筆記試験を行う。各分野の配点は、小児科10点、腎臓内科45点、泌尿器科45点とし、合計60点以上を合格とする。

5. 教員名

病態生理制御学 (第2内科) : 西野友哉、浦松 正、小畑陽子、牟田久美子
 血液浄化療法部 : 錦戸雅春
 感染病態制御学 (小児科) : 森内浩幸、白川利彦
 腎泌尿器病態学 (泌尿器科) : 酒井英樹、宮田康好、木原敏晴

6. 備考 (準備学習等)

腎・尿路系の解剖、生理、病理学について復習しておくこと。

腎泌尿器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	8	火	1	腎・泌尿器系	腎・泌尿器系 イントロダクション	泌尿器科・酒井	第4
4	8	火	2	内科的腎疾患	臨床総論；腎疾患の主要症候	内科2・西野	第4
4	15	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（検尿異常）	内科2・浦松	第4
4	15	火	2		腎疾患のとらえかた（検尿異常）		第4
4	22	火	1	内科的腎疾患	糸球体腎炎	内科2・西野	第4
4	22	火	2		糸球体腎炎		第4
5	13	火	1	内科的腎疾患	ネフローゼ症候群（含2次性腎症）	内科2・西野	第4
5	13	火	2		ネフローゼ症候群（含2次性腎症）		第4
5	27	火	1	内科的腎疾患	腎不全	内科2・牟田	第4
5	27	火	2		腎不全		第4
6	3	火	1	内科的腎疾患	腎臓と体液（腎臓の構造と生理機能）	内科2・小畑	第3
6	3	火	2		腎間質障害・循環障害・感染		第3
6	10	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（恒常性の破綻）	内科2・小畑	第3
6	10	火	2	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：解剖・生理	泌尿器科・宮田	第3
6	17	火	1	小児の腎疾患	先天性腎疾患、先天性尿細管疾患	小児科・森内（白川）	第4
6	17	火	2		腎尿路奇形、後天性腎疾患、腎不全		第4
6	24	火	1	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：症候・検査法	泌尿器科・宮田	第4
6	24	火	2		尿路性器外傷		第4
7	1	火	1	泌尿器科疾患	腎腫瘍、腎血管性病変	血液浄化・錦戸	第3
7	1	火	2		腎不全、腎移植、腎不全外科		第3
7	7	月	3	泌尿器科疾患	膀胱疾患、尿路上皮腫瘍	泌尿器科・宮田	第3
7	7	月	4		尿路結石		第3
7	8	火	1	泌尿器科疾患	排尿機能障害	泌尿器科・宮田	第3
7	8	火	2		性機能障害		第3
7	15	火	1	泌尿器科疾患	小児泌尿器疾患	泌尿器科・木原	第3
7	15	火	2		炎症性疾患	泌尿器科・酒井	第3

生 殖 系

責 任 者	氏 名	増 崎 英 明	内 線	7361
	教 室	産科婦人科学	e-mail	bunbuku@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金 17:00～17:30		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Reproductive Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

(ねらい) 男女の生殖器の解剖、生理および病理について系統的に理解するのがねらいである。

(到達目標) 男性生殖器、女性生殖器の解剖、発生およびその異常について説明できる。男性不妊症や主な男性生殖器疾患について説明できる。女性の性周期、妊娠成立のしくみ、不妊症および不育症について説明できる。正常妊娠・胎児・分娩の経過およびその異常としてのハイリスク妊娠・分娩について説明できる。主な女性生殖器疾患について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義時間は61.5時間（41コマ）であり、その内訳は、第三解剖1.5時間（1コマ）、泌尿器科4.5時間（3コマ）および産婦人科55.5時間（37コマ）である。

3. 教科書、参考書等

	著 者	出版社	定 価
ムーア人体発生学	Moore, Persaud	医歯薬出版	9,500 円
新泌尿器科学	内藤誠二	南山堂	8,700 円
標準産科婦人科学	岡井 崇 他編	医学書院	8,610 円
臨床産科超音波診断 改訂2版	増崎英明	メディカ出版	7,800 円

4. 成績評価の方法・基準

出席点および筆記試験により評価する。筆記試験問題は担当教員が分担して作成する。原則として60%以上の得点をもって合格とする。

5. 教員名

第三解剖 : 小路武彦

泌尿器科 : 酒井英樹

産婦人科 : 増崎英明、三浦清徳、金内優典、吉田 敦、北島道夫、井上統夫、平木宏一、カーンカレク、長谷川ゆり、築山尚文、松本亜由美、松本加奈子、谷口憲、谷川輝美

非常勤講師：吉村泰典（慶応義塾大学）

植原久司（大分大学）

片淵秀隆（熊本大学）

藤森敬也（福島県立医大）

村上 誠（佐世保市立総合病院）

藤下 晃（済生会長崎病院）

中山大介（佐世保市立総合病院）

小寺宏平（長崎市立市民病院）

中島久良（長崎市立市民病院）

江口二郎（佐世保共済病院）

6. 備考（準備学習等）

とくになし。

生殖系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	2	水	1	女性性器の構造	女性性器の構造／産婦人科診察	非常勤・藤下	第3
			2	男性生殖器の疾患(1)	前立腺癌／前立腺肥大症	泌尿器科・酒井	
4	4	金	3	イントロダクション	産婦人科学について	産婦人科・増崎	第4
4	9	水	1	性分化と性器の発生	性器の発生、性分化異常	解剖3・小路	第3
			2	女性の性機能	性機能系のホルモン／視床下部-下垂体-卵巢系／性器の周期的変化	産婦人科・井上	
4	11	金	3	女性性器の異常	形態異常／位置異常／損傷と瘻	非常勤・藤下	第4
4	16	水	1	外陰・膣の疾患(1)	外陰・膣の炎症／性感染症／骨盤内炎症性疾患(PID)	産婦人科・カーン	第3
			2	外陰・膣の疾患(2)	外陰癌／膣癌	非常勤・村上	
4	18	金	3	男性生殖器の疾患(2)	精巣腫瘍／陰茎腫瘍	泌尿器科・酒井	第4
4	23	水	1	子宮の疾患(1)	子宮筋腫／子宮内膜症／子宮腺筋症	産婦人科・カーン	第3
			2	子宮の疾患(2)	子宮頸管ポリープ／子宮頸部異形成／子宮頸癌	保健学科・中島	
4	25	金	3	子宮の疾患(3)	子宮内膜ポリープ／子宮内膜増殖症／子宮体癌(子宮内膜癌)／子宮肉腫	非常勤・金内	第4
4	30	水	1	卵巣・卵管の疾患(1)	卵巣腫瘍・類腫瘍病変	産婦人科・金内	第3
			2	婦人科手術	エキスパートが教える婦人科手術の種類とその特徴	産婦人科・平木	
5	2	金	3	卵巣・卵管の疾患(2)	卵巣癌・卵管癌	非常勤・小寺	第4
5	7	水	1	婦人科の病理	細胞診・組織診	産婦人科・金内	第3
			2	加齢と疾患	更年期障害／老年期障害	産婦人科・北島	
5	9	金	3	妊娠の生理(1)	生命のはじまりー受精と着床／胚形成と胎盤形成	産婦人科・北島	第4
5	14	水	1	妊娠の生理(2)	胎児の発育／胎児-胎盤系の生理／妊娠による母体の変化	産婦人科・平木	第3
			2	正常分娩(1)	分娩の概念／陣痛初来機序／分娩の3要素／分娩機転	産婦人科・谷川	
5	16	金	3	正常分娩(2)	正常分娩の経過と管理／産褥期／新生児	産婦人科・谷口	第4
5	23	金	3	不妊(1)	不妊症ー生殖補助技術の光と陰	産婦人科・井上	第4
5	28	水	1	不妊(2)	性分化異常／男性不妊症	非常勤・江口	第3
			2	難産	陣痛の異常／児頭骨盤不均衡(CPD)／胎位・胎向・胎勢の異常	産婦人科・谷川	
5	30	金	3	妊娠の異常(1)	妊娠悪阻／流産／不育症／子宮外妊娠	非常勤・藤下	第4
6	4	水	1	妊娠の異常(2)	胎児発育遅延(FGR)	産婦人科・松本亜	第3
			2	妊娠の異常(3)	絨毛性疾患	産婦人科・谷川	
6	6	金	3	妊娠の異常(4)	羊水過多症／羊水過少症／胎盤・臍帯の異常	産婦人科・長谷川	第4
6	11	水	1	産科処置	産科手術／分娩誘発・促進／産科麻酔	産婦人科・平木	第3
			2	医療倫理	生殖医療と生命倫理	非常勤・吉村	
6	13	金	3	妊娠の異常(5)	産科出血／産科ショックとDICー産科救急の対処法	産婦人科・松本加	第4

生殖系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	18	水	1	月経	月経周期・排卵の調節機構	非常勤・植原	第3
			2	妊娠の異常（6）	多胎妊娠	産婦人科・三浦	
6	25	水	1	妊娠の異常（7）	妊娠中の高血圧	産婦人科・吉田	第3
			2	妊娠の異常（8）	早産と前期破水	産婦人科・築山	
7	2	水	1	婦人科腫瘍の病因学	ノーベル生理医学賞と子宮頸癌予防HPVワクチン	非常勤・片瀨	第3
			2	妊娠の異常（9）	妊娠と感染／周産期感染症	産婦人科・三浦	
7	9	水	1	胎児機能不全	胎児心拍数陣痛図（CTG）の読み方	非常勤・藤森	第3
			2	先天異常	先天異常／遺伝／出生前診断／胎児治療	非常勤・中山	
7	16	水	1	合併症妊娠（1）	内分泌・代謝／自己免疫／精神神経疾患	産婦人科・長谷川	第3
			2	合併症妊娠（2）	婦人科／心血管／血液／腎・泌尿器／消化器／呼吸器疾患	産婦人科・長谷川	

視 覚 系

責任者	氏名	北岡 隆	内線	7344
	教室	眼科学 (眼科・視覚科学)	e-mail	tkitaoka@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日 18:00-19:00 眼科医局		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Ophthalmology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

外界からの情報の80%以上は視覚を通して入力され、「失明宣告」は「死の宣告」にも匹敵する場合がある。視覚を得るための眼球他の構造と機能を学習し、さらにその視覚を脅かす疾患について理解させる。また眼科独自の検査についても学習する。

医師として必要な眼科領域の知識・技能の習得および内科に密接な関係をもつ眼科の重要性について十分な学習をすることを目標とする。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

基礎医学の知識を駆使して、眼科学を体系づけ、他臓器疾患との関連性をも理解させる。思考過程を重視し、考える講義にする。実習では講義で学んだ事項を身をもって体験させ、単なる知識の修得に終わらせないようにする。スライドおよび実際の眼科診療機材を提示し、視覚的アプローチを重視した講義を行う。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
Vaughan & Asbury's General Ophthalmology. 18th Ed.	Paul Riordan-Eva, Emmett T. Cunningham Jr	McGraw-Hill Medical Publishing	約 10,000円
Clinical Ophthalmology: A Systematic Approach 7th Ed.	Jack J. Kanski	Butterworth-Heinemann Medical	約 30,000円
標準眼科学 第12版	木下茂 / 中澤満 (編)	医学書院	約 7,350円
現代の眼科学 改訂第11版	所敬 (監) 吉田晃敏 / 谷原秀信 (編)	金原出版	約 7,500円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験にて可否を判定するが、出席状況も加味し、60点以上を合格とする。

5. 教員名

眼科学：北岡 隆、鈴間 潔、藤川亜月茶、上松聖典、築城英子

非常勤講師：山之内宏一 (思案橋ツダ眼科)、嵩 義則 (ダケ眼科)、

今村直樹 (南長崎ツダ眼科)、三島一晃 (三島眼科)

6. 備考 (準備学習等)

眼球および付属器に関して、人間生物学で学んだ知識をもって授業に臨むこと。第一回目の講義には、学生の知識レベルを確認するため小テストを行う。

視覚系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	16	月	1	眼科総論	眼の構造・機能	眼科・北岡	第3
			2	眼科総論	眼科検査Ⅰ	眼科・北岡	
6	19	木	1	発生	発生・奇形	眼科・上松	第3
			2	眼科総論	眼科症候学	眼科・藤川	
6	23	月	1	眼科総論	眼科検査Ⅱ	眼科・北岡	第3
			2	発達・眼位	斜視・弱視	眼科・上松	
6	26	木	1	遺伝	全身疾患・遺伝と眼疾患	眼科・上松	第3
			2	眼底	黄斑疾患	眼科・築城	
6	30	月	1	リハビリテーション	ロービジョンケア	非常勤・山之内	第3
			2	前眼部	眼瞼・結膜・涙道	眼科・上松	
7	3	木	1	網膜	網膜疾患Ⅰ	眼科・鈴間	第3
			2	救急	眼科救急と外傷	眼科・鈴間	
7	7	月	1	眼窩・神経眼科	眼窩疾患	非常勤・三島	第3
			2	眼底	網膜循環障害	眼科・築城	
7	10	木	1	中間透光体	水晶体	眼科・藤川	第3
			2	ぶどう膜	ぶどう膜炎	眼科・藤川	
7	14	月	1	緑内障	緑内障Ⅰ	非常勤・嵩	第3
			2	緑内障	緑内障Ⅱ	眼科・藤川	
			3	全身疾患と眼	糖尿病網膜症	眼科・北岡	
			4	前眼部	角膜・涙液	非常勤・今村	
7	17	木	1	網膜	網膜疾患Ⅱ	眼科・築城	第3
			2	神経眼科	神経眼科	眼科・築城	

耳鼻咽喉口腔系

責任者	氏名	高橋晴雄	内線	7349
	教室	耳鼻咽喉・頭頸部外科学（展開医療科学講座）	e-mail	htak0831@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	19時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Otorhinolaryngology—Head and Neck Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

感覚器を中心とした耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域の基礎を学び、検査、診断、治療法を理解する。また救急処置の基本を学び、併せて全身ないしは環境と耳鼻咽喉科領域の関連について学習をする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義は4年次前期より始まる。耳科学、平衡神経学、鼻科学、口腔・咽頭科学、喉頭科学、頭頸部外科学、救急医学に分類される。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
新耳鼻咽喉科学	切替一郎、野村恭也	南山堂	16,800円
New 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	喜多村健、森山寛	南江堂	6,615円

4. 成績評価の方法・基準

講義内容について、筆記試験にて60点以上を合格とする。
講義は出欠をとり、出席状況が試験の採点に反映される。

5. 教員名

耳鼻咽喉科：高橋晴雄、金子賢一、石丸幸太朗、高野 篤、陣内進也、吉田晴郎、木原千春、原 稔、山口仁平、渡邊 毅
非常勤講師：重野浩一郎、吉見龍一郎、隈上秀高、神田幸彦

6. 備考（準備学習等）

解剖・生理を復習しておく。

耳鼻咽喉口腔系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	木	1	耳科学	耳の疾患（1）	耳鼻科・原	第3
4	3	木	2		耳の疾患（2）・顔面神経	耳鼻科・原	第3
4	10	木	1	耳科学	聴器の解剖・生理	耳鼻科・高橋	第3
4	10	木	2		聴力検査	耳鼻科・木原	第3
4	17	木	1	耳科学	補聴器と先天性難聴	非常勤・神田	第3
4	17	木	2		人工内耳	耳鼻科・高橋	第3
4	24	木	1	耳科学	中耳の手術	耳鼻科・高橋	第3
4	24	木	2	鼻科学	鼻・副鼻腔の解剖と生理	耳鼻科・高野	第3
5	1	木	1	鼻科学	アレルギー性鼻炎	非常勤・吉見	第3
5	1	木	2		鼻・副鼻腔疾患各論	耳鼻科・高野	第3
5	8	木	1	平衡神経学	めまいの診断・平衡機能検査	非常勤・重野	第3
5	8	木	2		めまい疾患各論	非常勤・隈上	第3
5	15	木	1	口腔・咽頭科学	嚥下の生理と障害	耳鼻科・山口	第3
5	15	木	2		口腔ケアと嚥下性肺炎	特殊歯科・久松	第3
5	22	木	1	口腔・咽頭科学	口腔・咽頭の解剖・生理と疾患	耳鼻科・渡邊	第3
5	22	木	2	喉頭科学	喉頭の解剖と生理	耳鼻科・金子	第3
5	29	木	1	喉頭科学	喉頭疾患・音声外科	耳鼻科・金子	第3
5	29	木	2	頭頸部外科学	頭頸部癌（1）	耳鼻科・陣内	第3
6	5	木	1	頭頸部外科学	頭頸部癌（2）	耳鼻科・石丸	第3
6	5	木	2		側頭骨・頭蓋底（1）	耳鼻科・石丸	第3
6	12	木	1	頭頸部外科学	側頭骨・頭蓋底（2）	耳鼻科・吉田	第3
6	12	木	2	救急医学	耳鼻咽喉科の救急疾患	耳鼻科・吉田	第3

免疫・アレルギー疾患系

責任者	氏名	川上 純	内線	7260
	教室	内科学第一	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日の午後		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Immunology and Allergy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

免疫・アレルギー疾患、特にリウマチ・膠原病の病態・診断・治療について講義する。リウマチ・膠原病の分野は病態解析、診断技術、治療法の進歩が著しい分野である。これら疾患群の共通所見、疾患特異的所見および病態に応じた治療法を選択などを学んでほしい。内容は各疾患を講義した後に、これら疾患群の理解に重要な臓器病変や治療のまとめおよび最近のトピックスも授業する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義主体（スライドとシラバス）

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版者	定価
シラバス	講義担当者		
膠原病・リウマチ診療	東京女子医科大学附属 膠原病リウマチ痛風センター	MEDICAL VIEW	9500円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験の点数 60%以上で合格とする。

5. 教員名

第一内科：川上 純、中村英樹、一瀬邦弘、岩本直樹

保健学科：折口智樹

第二内科：西野友哉、角川智之

皮膚科：鋤塚さやか

非常勤講師：井田弘明（久留米大学医学部呼吸器・神経・膠原病内科教授）

右田清志（国立病院機構長崎医療センター）

6. 備考（準備学習等）

シラバスに目を通しておくこと。

免疫・アレルギー疾患系講義予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	7	月	1	総論1	自己免疫、リウマチ性疾患総論	第一内科：川上	第4
4	11	金	2	総論2	リウマチ膠原病の主要徴候、臨床検査	非常勤講師：右田	第4
4	18	金	2	各論1	強皮症、シェーグレン症候群	第一内科：中村	第4
4	25	金	2	リウマチ性疾患の腎病変	リウマチ性疾患と腎	第二内科：西野	第4
5	2	金	2	各論2	多発性筋炎／皮膚筋炎 混合性結合組織病	第一内科：川上	第4
5	9	金	2	各論3	関節リウマチの病態	非常勤講師：井田	第4
5	16	金	2	各論4	関節リウマチの治療 成人発症ステイル病	保健学科：折口	第4
5	23	金	2	各論5	全身性エリテマトーデス	第一内科：一瀬	第4
5	30	金	2	各論6	その他のリウマチ性疾患、類縁疾患	第一内科：岩本	第4
6	6	金	2	各論7	血清反応陰性脊椎関節症 ベーチェット病	非常勤講師：右田	第4
6	13	金	2	膠原病の皮膚症状	膠原病の皮膚症状	皮膚科：鋤塚	第4
6	20	金	2	各論8	血管炎症候群	保健学科：折口	第4
6	27	金	2	リウマチ性疾患の治療	リウマチ性疾患の治療	第一内科：中村	第4
7	4	金	2	リウマチ性疾患の肺病変	リウマチ性疾患と肺	第二内科：角川	第4
7	11	金	2	リウマチ性疾患の病因	診断、治療、病態：最近のトピックス	第一内科：川上	第4

社会医学系

責任者	氏名	青柳 潔	内線	7065
	教室	公衆衛生学 (公衆衛生学)	e-mail	kiyoshi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月・火・水の12:00-13:00		

対象年次・学期	4年・前後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	5
英語名	Medical Care & Public Health		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：この科目は衛生学及び公衆衛生学を主体とした社会医学に関する教育を体系化したものである。人間が生物的・社会的存在であるとの理解の上に、その健康擁護 (Health Care) を図るのが社会医学の基本的立場である。本科目の講義・実習を通じて人々の健康像・疾病像が生活環境や保健医療システムに大きく関わっていること、および地域あるいは職域の保健医療等について学ぶ。知識、判断力、倫理観等を涵養することが求められる。

到達目標：社会・環境と健康、疫学と予防医学、生活習慣と疾病、保健・医療・福祉と介護の制度、診療情報、臨床研究と医療を説明できる。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義及び実習を行う。講義は4年前後期に行われる。実習は5年期の臨床実習期間内に離島において行う。

3. 教科書

特に指定しない。必要に応じプリントを配布する。

4. 参考書

書名	著者	出版社
<ul style="list-style-type: none"> シンプル衛生公衆衛生学 臨床疫学 EBM実践のための必須知識. 厚生指針「国民衛生の動向」 	鈴木庄亮、久道茂監修 福井次矢 監訳 厚生統計協会	南江堂 メディカルサイエンスインターナショナル,

5. 成績評価の方法・基準

4年後期試験期間に筆答試験を行う。定期考査100%、60点以上を講義分の合格とする。

6. 教員名

公衆衛生学：青柳潔、安部恵代、有馬和彦、西村貴孝

地域医療学：前田隆浩、

法医：池松和哉

原研：高村昇

精神病態制御学：今村明

感染・分子：佐藤克也

救急部：田崎修、山野修平

薬剤部：佐々木均

医療情報部：本多正幸、松本武浩

へき地病院再生支援・教育機構：中桶了太

地域リハビリテーション学：本田純久

非常勤講師：草野洋介、今井秀樹、實森千香子

7. 備考 (準備学習等)

授業項目について教科書を読んでおくこと。

社会医学系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	木	3	保健・医療・福祉	健康と社会環境、障害と社会	公衆衛生・青柳	第3
4	10	木	3	健康保持・増進	健康日本21、健康増進法	非常勤・草野	第3
4	17	木	3	保健・医療・福祉	医師法、医療法・医療計画	地域医療学・前田	第3
4	24	木	3	保健・医療・福祉	老人の現状	非常勤・草野	第3
5	1	木	3	健康保持・増進	生活習慣病と保健	公衆衛生・安部	第3
5	8	木	3	保健・医療・福祉	老人保健・福祉、介護保険	地域医療学・前田	第3
5	15	木	3	衛生統計	人口統計	地域リハ・本田	第3
5	22	木	3	衛生統計	要因別死亡の状況、疾病・障害統計	地域リハ・本田	第3
5	29	木	3	疫学	序論、疫学指標	地域リハ・本田	第3
6	5	木	3	疫学	標本抽出、研究デザイン、比較の指標	地域リハ・本田	第3
6	12	木	3	疫学	Evidence Based Medicine (EBM)	地域リハ・本田	第3
6	19	木	3	国際保健	保健問題	原研・高村	第3
6	26	木	3	国際保健	保健協力	原研・高村	第3
7	3	木	3	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉施設・従事者	公衆衛生・安部	第3
7	10	木	3	感染症	食中毒・食品衛生法・食品安全基本法	非常勤・草野	第3

社会医学系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	29	月	1	産業保健	労働衛生行政	公衆衛生・青柳	第3
9	29	月	2	産業保健	労災法、労災の疫学	公衆衛生・青柳	第3
10	6	月	1	産業保健	産業医活動	非常勤・實森	第3
10	6	月	2	中毒・物理的要因	ガス中毒・酸欠、有機溶剤・化学物質中毒	非常勤・實森	第3
10	20	月	1	中毒・物理的要因	農薬中毒・自然毒・急性アルコール中毒	救急部・田崎	第3
10	20	月	2	中毒・物理的要因	中毒治療	救急部・山野	第3
10	27	月	1	中毒・物理的要因	重金属中毒	公衆衛生・有馬	第3
10	27	月	2	中毒・物理的要因	薬物中毒	薬剤部・佐々木	第3
11	10	月	1	診療情報	情報管理	医療情報・松本	第3
11	10	月	2	保健・医療・福祉	公衆衛生と予防医学、プライマリケア、ヘルスプロモーション	公衆衛生・安部	第3
11	17	月	1	公衆栄養学	国民栄養	公衆衛生・西村	第3
11	17	月	2	公衆栄養学	国民栄養	公衆衛生・西村	第3
12	1	月	1	産業保健	職業癌、頸肩腕障害、腰痛、VDT	公衆衛生・安部	第3
12	1	月	2	医事法制（1）	医事法制概論1	法医・池松	第3
12	8	月	1	地域保健	へき地医療	へき地病院再生支援・教育機構・中桶	第3
12	8	月	2	医事法制（2）	医事法制概論2	法医・池松	第3
12	9	火	1	地域保健	学校保健	公衆衛生・有馬	第3
12	9	火	2	医事法制（3）	死亡診断書（死体検案書）の書き方	法医・池松	第3

社会医学系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	15	月	1	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉の連携	公衆衛生・青柳	第3
12	15	月	2	社会保障	社会保障制度	公衆衛生・青柳	第3
12	16	火	1	中毒・物理的要因	騒音と振動、異常気圧・気温	公衆衛生・西村	第3
12	16	火	2	診療情報	プライバシー、診療録	医療情報・本多	第3
12	22	月	1	感染症	感染症法、予防接種法	感染・分子・佐藤	第3
12	22	月	2	社会保障	難病対策	感染・分子・佐藤	第3
1	5	月	1	保健・医療・福祉	医療保険・公費医療・医療経済	公衆衛生・青柳	第3
1	5	月	2	地域保健	離島医療	地域医療学・前田	第3
1	6	火	1	臨床研究と医療	臨床試験・治験	公衆衛生・有馬	第3
1	6	火	2	臨床研究と医療	倫理指針、副作用報告	公衆衛生・有馬	第3
1	8	木	1	地域保健	母子保健Ⅰ	公衆衛生・有馬	第3
1	8	木	2	地域保健	母子保健Ⅱ	公衆衛生・有馬	第3
1	8	木	3	生活環境保健	環境保全、公害、廃棄物処理	非常勤・今井	第3
1	8	木	4	生活環境保健	内分泌攪乱物質・環境モニタリング	非常勤・今井	第3
1	13	火	1	地域保健	精神保健	精神科・今村	第3
1	13	火	2	地域保健	精神保健	精神科・今村	第3
1	15	木	1	地域保健	地域保健法	公衆衛生・安部	第3
1	15	木	2	地域保健	老人保健・高齢者医療確保法	公衆衛生・安部	第3

皮膚系

責任者	氏名	宇谷 厚志	内線	7331
	教室	皮膚科学 (皮膚病態学)	e-mail	utani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00~17:00 必ず事前にアポイントを取る		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Dermatology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

皮膚病変は実際に目で見る事が出来る病変であり、生検も容易に行える点が特異といえる。しかし皮膚病変の原因は無数にあり、診断名も煩雑であることが理解されにくい一因であろう。この系では、臨床医に必要な皮膚疾患の概説を行うが、単なる暗記ではなく、皮膚の構造と状態を理解し、病変を見た場合の診断の仕方を、(1)皮疹の見方、(2)病理所見、(3)病因、(4)病態などを把握しながら学んでほしい。

また、「皮膚は内臓の鏡」ともいわれ、思わぬ内臓疾患が判明することもある。皮膚病変の位置づけを全身疾患との関連性の面でも理解してほしい。

到達目標としては、発疹学が説明できるようになり、多彩な皮膚病変を分類することが出来、その症状、発生病理を説明できることである。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

全20時間の講義は、皮膚科15、形成外科4、病理1からなる。講義は皮膚の解剖、生理、病理、診断に始まり、皮膚科からは各種皮膚疾患の講義を、形成外科より形態異常、熱傷、瘢痕及びケロイド、皮膚潰瘍などの講義を行い、皮膚と内臓病変、治療をもって終了とする。詳細は講義日程を参照のこと。

3. 教科書、参考書等

皮膚科、病理：要点を記載したプリントを配布するが、全てはカバーできないため、参考書はぜひ一冊持ってほしい。

書名	著者	出版社	定価
あたらしい皮膚科学	清水 宏 著	中山書店	7,980 円
皮膚科学	大塚藤男著、上野賢一 原著	金芳堂	12,600 円

形成外科：プリント配布予定

書名	著者	出版社	定価
標準形成外科学 第6版	平林慎一・鈴木茂彦 編集	医学書院	6,090 円
TEXT形成外科 第2版	波利井清紀 監修	南山堂	9,064 円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行う。各科の時間数に応じて配点を割り当て、総計100点として評価する。60点以上を合格とするが、60点以上であっても各分野での得点が40点に満たない時は不合格となることもある。また、評価には出席率も考慮する。

5. 教員名

皮膚科：宇谷厚志、竹中 基、原 肇秀、富村沙織、鉦塚 大、小池雄太、鉦塚 さやか
 形成外科：平野明喜、田中克己、秋田定伯、吉本 浩
 臨床病態病理学：木下直江
 非常勤：宿輪哲生 (国病長崎医療センター)

6. 備考 (準備学習等) 上記参考資料で、当該部分を一読しておくこと。

皮膚系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	30	火	3	皮膚科概括講義	総論1：皮膚の構造と機能、湿疹・蕁麻疹	皮膚科・宇谷	第3
9	30	火	4	皮膚科概括講義	総論2：皮膚病理組織学	病理部/臨床病態病理学 ・木下	第3
10	7	火	3	形成外科概論、組織移植	形成概論、組織移植、人工医用材料	形成外科・平野	第3
10	7	火	4	皮膚科概括講義	各論1：紅斑・血管炎・膠原病	皮膚科・宇谷	第3
10	14	火	3	皮膚科概括講義	各論2：紫外線皮膚障害	皮膚科・宇谷	第3
10	14	火	4	特論1	毛髪・爪の異常、汗腺性疾患、脂腺系疾患	非常勤・宿輪	第3
10	21	火	3	特論2	細菌・真菌による皮膚感染症、虫などによる皮膚炎	皮膚科・竹中	第3
10	21	火	4	皮膚科概括講義	各論3：角化症など	皮膚科・宇谷	第3
10	28	火	3	物理的皮膚損傷	熱傷・化学損傷	形成外科・吉本	第3
10	28	火	4	皮膚科概括講義	各論4：ウィルス感染症など	皮膚科・宇谷	第3
11	4	火	3	創傷治癒、癬痕・ケロイド、慢性創傷	創傷治癒、癬痕・ケロイド、褥瘡・難治性潰瘍	形成外科・秋田	第3
11	4	火	4	特論3	真皮結合組織異常	皮膚科・宇谷	第3
11	11	火	3	皮膚形成の基礎	皮膚縫合法、植皮・各種皮弁、Z形成術	形成外科・田中	第3
11	11	火	4	皮膚科概括講義	各論5：肉芽腫症・アミロイドーシス	皮膚科・宇谷	第3
11	18	火	3	皮膚科概括講義	各論6；水疱症・膿疱症	皮膚科・富村	第3
11	18	火	4	特論4	母斑・色素異常症	皮膚科・鍛塚さやか	第3
11	25	火	3	特論5	薬疹	皮膚科・竹中	第3
11	25	火	4	特論6	皮膚科治療法	皮膚科・原	第3
12	2	火	3	特論7	皮膚良性悪性腫瘍（メラノーマを含む）	皮膚科・鍛塚 大	第3
12	2	火	4	特論8	皮膚リンパ腫及び関連疾患	皮膚科・小池	第3

精 神 系

責任者	氏名	小澤 寛 樹	内線	7293
	教室	精神神経学 (精神神経科学)	e-mail	ozawa07@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日・12:00-13:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Neuropsychiatry		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：精神と行動の障害として表現される精神疾患の症候、病態生理、成因とそれに対応する治療とケアについて理解する。精神疾患（精神障害）を、分子レベルから、神経系・内分泌系・免疫系・循環系が交錯する脳、個体、家族、社会、文化、倫理などの多次元の病理が個人の精神と行動の障害として現れたものとして理解し説明するために自主性を持って学習する。さらに、精神疾患に対する治療とケアを通して、多様な思考力や想像力を養う。

到達目標：精神疾患に罹患した人々の内的苦悩を実感できる。
精神疾患の病態と成因、治療・ケアの基本的な理解ができる。
こころと行動の理解を目指す諸科学のめざましい発展の実状を理解する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

精神障害の成り立ちや治療を理解する上での精神医学全般に関する知識の提供。精神医学分野でのbio-psycho-social-ethicalといった多軸的な観点を養う。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
標準精神医学(第5版)	野村総一郎、樋口輝彦	医学書院	6,500円
現代臨床精神医学(第12版)	大熊輝雄	金原出版	7,700円
精神医学(第5版)	大月三郎	文光堂	7,200円

4. 成績評価の方法・基準

定期考査（筆記試験）80%、レポート20%などの他出席状況も評価に含める。

5. 教員名

精神神経科：小澤寛樹、今村 明、黒滝直弘、木下裕久
非常勤講師：岡崎祐士（道ノ尾病院）、齋藤利和（札幌医科大学名誉教授）、
高橋克朗（長崎県立精神医療センター）、辻村徹（長崎市民病院）
中根秀之（保健学科作業療法学専攻）、肥田裕久（ひだクリニック）

6. 備考（準備学習等）

精神系授業予定(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	29	月	3	精神医学入門	歴史、主な理論・分野	精神科・小澤	第3
9	29	月	4	精神疾患の分類と診断/精神症候学	分類概念、分類体系、診断基準、治療模擬患者VTR、精神病症状、感情障害症状、神経症症状	保健学科・中根	第3
10	6	月	3	症状評価・検査法	面接法、評価尺度、生理学検査(脳波など)、脳画像検査、心理検査(投影法、非投影法など)	非常勤・辻村	第3
10	6	月	4	精神療法	精神分析、摂食障害	精神科・杉本	第3
10	20	月	3	統合失調症の症状と治療	精神薬理学、早期介入、薬物療法	精神科・今村	第3
10	20	月	4	統合失調症の病態生理と成因	脳形態、精神生理、心理学、遺伝疫学、分子遺伝学	非常勤・岡崎	第3
10	27	月	3	「ひだクリニック」の活動①	ユーザーによる社会的活動	非常勤・肥田	第3
10	27	月	4	「ひだクリニック」の活動②	ユーザーによる社会的活動	非常勤・肥田	第3
11	10	月	3	気分障害の病態生理と治療1	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法	精神科・小澤	第3
11	10	月	4	気分障害の病態生理と治療2	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法	精神科・小澤	第3
11	17	月	3	精神作用物質性障害	アルコール&薬物関連精神障害、急性中毒、依存症候群(モルネ、アソヘギン、大麻など)	非常勤・齋藤	第3
11	17	月	4	認知症の症候学、疫学、病態、治療、ケア	症候学、病態、疫学、薬物療法、非薬物療法	精神科・黒滝	第3
12	1	月	3	器質性・症状性精神障害	概説、対象疾患、せん妄、身体疾患に伴う精神障害、症状精神病の概説	精神科・木下	第3
12	1	月	4	神経症性障害	神経症の全般的説明、強迫性障害、パニック障害、全般性不安障害	非常勤・高橋	第3
12	8	月	3	リエゾン・コンサルテーション精神医学	概説、対象疾患、せん妄、チーム医療の概説	精神科・橋口	第3
12	8	月	4	パーソナリティ障害、生理機能の障害	パーソナリティ障害の概念史、分類、診断基準、睡眠障害	精神科・黒滝	第3
12	15	月	3	小児・思春期における精神障害	自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、学習障害	精神科・今村	第3
12	15	月	4	小児・思春期における精神障害と司法精神医学	不登校、被虐待児、行為障害その他、精神保健福祉法、触法精神障害、精神鑑定	精神科・今村	第3
12	22	月	3	災害精神医学	トラウマの概念、PTSDの疫学、介入、治療	精神科・木下	第3
12	22	月	4	精神医学における今日のニューロサイエンス	精神障害のニューロサイエンスの最近の研究から	精神科・黒滝	第3
1	5	月	3	まとめ①	まとめ	精神科・小澤	第3
1	5	月	4	まとめ②	まとめ	精神科・小澤	第3

小 児 系

責 任 者	氏 名	森 内 浩 幸	内 線	7298
	教 室	小児科学 (小児病態制御学)	e-mail	hiromori@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00 - 18:00 / TEL095-819-7298		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Pediatrics & Pediatric Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：ヒトが胎芽期、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期を駆け抜けながら刻々と成長発達していく過程における生理と病理を、内科的および外科的な観点から学んでいく。『小児は大人を小さくしたものではない』ことを理解してもらう。

到達目標：正常発達過程を理解することができる。小児の特異性を身体的・精神的・社会的側面から理解することができる。成長発達していく過程で生じる主な内科的・外科的疾患の病態生理・臨床的特徴・診断法・予防法・治療法を覚える。(小児科総括講義と併せて)小児患者に対する症候学的アプローチの基礎を習得し、小児科臨床実習を行うにあたって必要な臨床知識を整理することができる。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

概要 オムニバス形式で小児の正常発達、(他の系で取り上げられていない)小児内科的疾患、小児外科的疾患、小児形成外科的疾患、小児歯科学を講義する。

3. 教科書、参考書等

先天奇形症候群アトラス	梶井・黒木・新川 編	南江堂
標準小児外科学	鈴木・横山・岡田 編	医学書院
標準形成外科学	秦・野崎 編	医学書院

(注：小児科に関しては、特に指定しない。必要な資料は適宜配布または紹介する。)

4. 成績評価の方法・基準

定期考査によって、主な小児疾患の病態生理・臨床像・診断・予防・治療法の理解と習得できた知識のレベルを評価する。

5. 教員名

森内浩幸、楊井章紀、橋本邦生 (小児科) ; 大島雅之 (外科1) ; 小坂太郎 (外科2) ; 矢野浩規 (形成外科) ; 【非常勤講師】本村克明 (長崎市保健所)、藤原 卓 (歯学部) ; 近藤達郎 (みさかえの園) ; 平松公三郎 (国立病院機構長崎病院) ; 本山和徳、小柳憲司 (長崎県立こども医療福祉センター)

7. 備考 (準備学習等)

小児の疾患については他の多くの系の授業の中でも取り上げられており、それらを総合して始めて小児の疾患を網羅的に学ぶことができる。小児系とこれらの系の関連講義で学んだことを相互に連結されるように予習・復習する。

小児系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	30	火	1	総論・成長・発達・育児	総論・成長・発達・育児：乳幼児期は感受性が高く、両親から多くを学び、親子が共に急速に成長する時期である。妊娠・出産・子育てを理解し、人生で最も大事な時期を医師として如何に支援していくかを学ぶ。	森内（小児科）	第3
9	30	火	2				第3
10	7	火	1	新生児	新生児期は胎児期から乳児・小児期への移行期にあたり、特殊な生理・病態を呈する。胎児・新生児の生理をよく理解してもらった上で、早産に代表されるハイリスク新生児の病態や疾患について解説する	楊井（小児科）	第3
10	7	火	2				第3
10	14	火	1	呼吸器・アレルギー	①小児気管支喘息の病態生理・診断・重症度分類・治療（急性発作への対応、長期管理の為の薬物療法）、②食物アレルギーの臨床型分類・診断・治療・予防、③アナフィラキシーの定義・対応を学ぶ。	橋本（小児科）	第3
10	14	火	2				第3
10	21	火	1	感染症・免疫	小児の免疫学的特徴を理解し、種々の病原体の疫学と生態学を知り、小児における主な感染症を学ぶ。また先天性・後天性の免疫不全の病因病態を理解し、小児期に起こりやすい自己免疫疾患を習得する。	森内（小児科）	第3
10	21	火	2				第3
10	28	火	1	内分泌・代謝・栄養	小児の成長の特性について理解するとともに、発達期の栄養と内分泌代謝疾患の概要を把握する。	本村（非常勤：長崎市保健所）	第3
10	28	火	2				第3
11	4	火	1	小児心療内科	小児の心と身体の関わりについて学ぶ。小児の心身症、行動障害、不登校など、心身医学的配慮が必要な病態と、その対応について理解する。	小柳（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	第3
11	4	火	2	発達障害	発達障害の概念、医療的対応について述べ、児の早期発達支援ならびに家族支援の重要性を学ぶ。	本山（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	第3
11	11	火	1	小児形成外科	顔面・手の発生と様々な先天異常、および発達中の小児における治療とその影響について講義する。	矢野（形成外科）	第3
11	11	火	前半：療育医療	医療を要する重度重複障害児の存在を認識し、命を支え障害と共に生きるために必要な医療について理解する。 ①口腔や歯に影響を及ぼす疾患や薬剤について、 ②齶蝕原性細菌の伝播と齶蝕の発生メカニズムについて	平松（非常勤：国立病院機構長崎病院） 藤原（非常勤：歯学部）	第3	
			後半：小児歯科				
11	18	火	1	先天異常・遺伝	メンデル遺伝、多因子遺伝、ミトコンドリア遺伝、染色体異常、後成的修飾による疾患を各々概説し、遺伝性疾患患者がおかれている諸問題及びそれに対する遺伝カウンセリングについて論じる。	近藤（非常勤：みさかえの園）	第3
11	18	火	2				第3
11	25	火	1	小児外科（1）	顔面・頸部、胸部（胸壁・肺・気管・縦隔・横隔膜・乳腺・食道）、消化管（胃・十二指腸・空回腸・結腸・直腸）疾患の発生、病態、診断、治療について理解する。	小坂（第2外科）	第3
11	25	火	2				第3
12	2	火	1	小児外科（2）	肝胆膵・腹壁・移植・腫瘍（特に胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症）、腹壁形成異常（臍帯ヘルニア、腹壁破裂）、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、小児の移植、小児固形腫瘍と集学的治療について概説する。	大畠（第1外科）	第3
12	2	火	2				第3

感 染 症 系

責任者	氏名	河野 茂	内線	7271
	教室	内科学第二	e-mail	s-kohno@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日 9:00-17:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Infectious Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい: 多様な病原体が宿主に感染することにより起こる感染症は、日常臨床で遭遇する疾病の中で最多のものである。感染症にはどのような特徴があるか、また感染症の患者にいかに関与し、的確な診断、適切な治療さらには予防へと結びつけていくかを、多角的な視点から学ぶことで、病原体の多様性や感染症の臨床像に対し応用力をつけることがねらいである。

到達目標: 臨床医学の中での感染症の特徴を理解して、説明することができる。感染症の患者へのアプローチや診断、治療、予防を総合的にとらえて説明することができる。熱帯感染症についてその背景、特徴を説明することができる。院内感染について、その対策や制御および重要な原因微生物を説明することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要 内科学の一部を構成する「感染症学」に相当する内容を学習する。主に一般細菌、ウイルス、真菌、寄生虫、抗酸菌感染症の診断と治療を学習する。また、医療従事者において院内感染はきわめて重要な問題であるため、その対策の実際を学び、実習も行う。さらに「熱帯感染症」の視点を取り入れ、海外へのあるいは海外からの旅行者や赴任者が増加の一途をたどっている背景を考慮し、マラリア、デング熱、下痢症、新興感染症を学ぶ。おのおのの病原体の基礎知識、宿主-病原体関係について理解し感染症の病態生理を根本的に理解することを学ぶ。

3. 教科書、参考書等

特に教科書は指定しないが、以下のものを参考書として推薦する。

Mandel GL, Bennett JE, Dolin R. 7th ed 「Principles and Practice of Infectious Diseases」

Mayhall CG. 4th ed 「Hospital Epidemiology and Infection Control」

河野 茂 編 「感染症のとらえ方」文光堂

河野 茂 編 「レジデントのための呼吸器疾患診療マニュアル」医学書院

Richard A. Harvey 山口恵三/松本哲哉 監訳 「イラストレイテッド微生物学 第2版」丸善株式会社

4. 成績評価の方法・基準

期末試験100%。授業内容を中心に出题する試験により行う。

5. 教員名

呼吸器病態制御学（第二内科）河野 茂、宮崎泰可、中村茂樹、高園貴弘

臨床感染症学（感染制御教育センター）泉川公一

小児科学分野（小児科）森内浩幸

臨床感染症学分野（熱研内科）有吉紅也、森本浩之輔

熱研 ウイルス学分野 森田公一

熱研 寄生虫学分野 濱野真二郎

比較動物医学分野（動物実験施設）大沢一貫

分子治療研究分野（原研内科）田口 潤

大学病院 検査部 柳原克紀

6. 備考（準備学習等）

すでに3年次に履修した感染系の各項目を復習しておくこと。

感染症系(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	3	金	3	感染症診療のための基本的アプローチ：感染症の診断法	感染症の古典的な鏡顕や培養、抗血清による診断法から、近年開発された尿中抗原検査や遺伝子診断まで適応や意義を学ぶ。	第二内科・河野	第3
10	3	金	4	耐性菌による感染症	現在、各種領域で問題となっている耐性菌を紹介するとともに、耐性菌による感染症の発症に至る機序や治療について学ぶ。	東京医科大・松本	第3
10	10	金	3	エイズの疫学、自然経過、予防	国内外のエイズ流行の動向について概説し、エイズの疫学、自然経過、予防対策の本質について学ぶ。	熱研内科・有吉	第3
10	10	金	4	エイズの臨床、治療	HIV感染者・エイズ患者に対する臨床的アプローチの仕方、日和見感染症の予防・治療、最新の抗HIV薬併用療法について学ぶ。	熱研内科・有吉	第3
10	17	金	3	不明熱と敗血症、SIRS	不明熱の3大原因の一つが感染症である。不明熱をみた場合に鑑別すべき感染症と診断法について学ぶ。	第二内科・宮崎	第3
10	17	金	4	難治性感染症	問題となる難治性感染症の原因として耐性菌やバイオフィルム感染症などがあるが、具体的な疾患について学ぶ。	臨床感染症学・泉川	第3
10	24	金	3	ウイルス感染症の診断	ウイルス感染症の診断法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの診断法の各論を概説する。	小児科・森内	第3
10	24	金	4	ウイルス感染症の治療	ウイルス感染症の治療法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの治療法の各論を概説する。	小児科・森内	第3
10	31	金	3	現代医療における易感染性宿主と日和見感染症	抗がん剤治療後のがん患者などにおける免疫不全と併発する感染症の病態生理を講義する。	原研内科・田口	第3
10	31	金	4	深在性真菌症の診断と治療	深在性真菌症の主要な病原菌、重要な基礎疾患、エビデンスに基づく抗真菌薬療法について学ぶ。	第二内科・河野	第3
11	7	金	3	熱帯医学と感染症	熱帯地でみられる感染症を概説するとともに、熱帯医学を幅広くとらえる視野を持たせる。	熱研内科・有吉	第3
11	7	金	4	人獣共通感染症	人獣共通（動物由来）感染症について、微生物の概説、伝播方式、予防策などトピックを交えながら講義する。	比較動物医学・大沢	第3
11	14	金	3	寄生虫感染症の診断と治療	熱帯地でみられる寄生虫感染症の疫学・病態・臨床・診断・治療・予防について体系的に説明する。	熱研・濱野	第3
11	14	金	4	インフルエンザの臨床、治療	インフルエンザウイルス感染に関連する様々な臨床像について説明する。	第二内科・中村茂樹	第3
11	21	金	3	蚊が媒介するウイルス感染症の診断と治療	熱帯地域で重要な日本脳炎、デング出血熱、西ナイル熱などの蚊媒介性ウイルス感染症の診断、治療、予防について講義する。	熱研・森田	第3
11	21	金	4	マラリアの診断と治療および予防	熱帯地でみられるマラリアを中心とする原虫疾患の疫学・病態・臨床・診断方法・治療・予防について体系的に説明する。	熱研内科・有吉	第3
11	28	金	3	熱帯でよくみる細菌感染症の診断と治療	主に熱帯地でみられる、細菌性感染症について、病態、診断、治療について解説する。	熱研内科・森本	第3
11	28	金	4	院内感染とその対策Ⅰ	接触感染、飛沫感染、空気感染の違いと、院内感染対策の上で重要な病原菌の病態や対処方法を学ぶ。	臨床感染症学・泉川	第3
12	5	金	3	院内感染とその対策Ⅱ	院内感染を防止するための理論と対策を学ぶ。	臨床感染症学・泉川	第3
12	5	金	4	院内感染対策実習	院内感染防止の具体的手順について実習する。	臨床感染症学・泉川	第3
12	12	金	3	感染症の予防(1)：能動免疫	ワクチン接種による感染症の予防法についての総論と、代表的なワクチンの各論について学ぶ。	小児科・森内	第3
12	12	金	4	感染症の予防(2)：受動免疫, その他	免疫グロブリン療法による受動免疫やその他の手段による感染症の予防法について学ぶ。	小児科・森内	第3
12	19	金	3	性行為感染と母子感染	ヒトの再生に関わる性行為、妊娠、分娩、授乳の営みを介して起こる感染症の総論と、代表的疾患の各論を学ぶ。	小児科・森内	第3
12	19	金	4	抗酸菌感染症の診断と治療	結核症と非結核性抗酸菌症の疫学、病態と鑑別診断、さらに診断方法と標準的な治療法に関して学習する。	富山大学・山本	第3
12	26	金	3	感染症の画像診断	感染症領域における画像診断のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	臨床感染症学・泉川	第3
12	26	金	4	感染症の救急診療	感染症領域における救急診療のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	第二内科・高園	第3
1	9	金	3	抗菌薬の選択法	最新の一般抗菌薬の種類、各系統のスペクトルや副作用の特徴、典型的な適応症について学ぶ。	検査部・柳原	第3
1	9	金	4	抗菌薬の選択法(2)	最新の抗真菌薬の種類や副作用、また抗菌薬処方の実際について学ぶ。	第二内科・宮崎	第3

法 医 学 系

責任者	氏名	池松 和哉	内線	7076
	教室	社会医学・法医学	e-mail	k-ikema@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日 16:30～17:30		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Forensic Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

法医学は「医学的解明助言を必要とする法律上の案件・事項について、科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的」としており、これを達成するに必要な知識獲得を到達目標とする。

到達目標：

1. 「異状死」という概念を説明できること。
2. 医師の専任事項である死体検案（死後診察）について確実に理解できること。
特に、検案の主目的である「死因」、「死亡推定時刻」、「個人識別」、「法医学的異状の有無」に関しては、論理的で正確な判断を行なえること。
3. 医師として必要な「死亡診断書（死体検案書）」を正確に記載・作成できること。

2. 授業内容（講義・実習項目）

到達目標に則して、死因論、損傷論、個人識別、及び異状死の概念と死体検案の方法並びに死体検案書の記載・作成法等の講義を行なう。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
★学生のための法医学（改訂6版）	田中宣幸 他	南山堂	5,300 円
★死体検案マニュアル2010年	日本法医学会	日本法医学会	2,000 円

4. 成績評価の方法・基準

定期考査70%、小テスト15%、レポート15%で評価する。
上記到達目標を60%以上到達できた場合を合格とする。

5. 教員名

法医学：池松和哉、山本琢磨、梅原敬弘

放射線科：村上友則

非常勤講師：久保真一（福岡大学）、木下博之（香川大学）、北村修（金沢医科大学）

小片守（鹿児島大）、神田芳郎（久留米大学）

6. 備考（準備学習等）

講義前に教科書を読み、法医学用語を学習しておく。

法医学系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
10	2	木	3	法医学概論	法医学の定義・歴史	法医・山本	第3
10	2	木	4	死の判定と死因 外因死と内因死	生から死への過程、死の判定、死因、 死因論・外因死と内因死の定義		
10	9	木	3	損傷（1）	損傷総論・鈍器損傷	法医・池松	第3
10	9	木	4	損傷（2）	頭部の損傷（外景・内景所見と死因）	非常勤・久保	
10	16	木	3	損傷（3）	鋭器・鈍器損傷	法医・池松	第3
10	16	木	4	損傷（4）	損傷の評価法		
10	23	木	3	損傷（5）	交通事故による損傷	法医・池松	第3
10	23	木	4	損傷（6）	小児・配偶者・高齢者に対する虐待	非常勤・小片	
10	30	木	3	窒息死（1）	窒息総論・頸部圧迫による窒息死1	法医・池松	第3
10	30	木	4	個人識別（1）	血液型・DNA型	非常勤・神田	
11	6	木	3	法医中毒学（1）	アルコール・農薬	非常勤・木下	第3
11	6	木	4	法医中毒学（2）	覚醒剤中毒		
11	13	木	3	窒息死（2）	頸部圧迫による窒息死2	法医・池松	第3
11	13	木	4	死体現象	死体現象と死後経過時間の推定	法医・山本	
11	20	木	3	溺死	溺死体と水中死体	法医・山本	第3
11	20	木	4	異常環境下の死	高温による障害・低温による障害		
11	27	木	3	胎・嬰兒の死	嬰兒殺	法医・山本	第3
11	27	木	4	死後画像診断	法医学における画像診断	放射線科・村上	
12	4	木	3	内因死	法医学における内因性急死	非常勤・北村	第3
12	4	木	4	個人識別（2）	個人識別の実際	法医・梅原	
12	11	木	3	検案の実際	検案の方法と注意点	法医・山本	第3
12	11	木	4	法医学演習	症例の検討	法医・池松	

診 断 学

責任者	氏名	大園 恵 幸	内線	7323
	教室	総合診療学 (総合診療学)	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30-18:30		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3
英語名	Physical Diagnosis		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

診断学では、臨床の第一歩として医師－患者信頼関係を重視した医療面接技能及び基本的臨床技能を修得する。さらに症候から診断への的確なアプローチ法を学ぶとともに患者の立場に立った医療を行える医師となるための基礎を築くことを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義：総論として医療面接技能、基本的身体診察技能とともに内科、外科、臨床検査診断、放射線、内視鏡、症候診断、眼底、鼓膜診察法を教授する。

実習：実習要領に沿って総論実習2回と項目についての各論実習を10回行う。

総論実習では、チューターとなる教官がそれぞれのグループの学生に基本的診察技能を指導する。各論実習では、それぞれの専門医が主要症候から診断法、身体診察法を指導する。

3. 教科書、参考書等

基本的臨床技能マニュアル(長崎大学医学部編)を配付する。それに加えて下記の教科書・参考書が参考となる。

書名	著者	出版社	定価
内科診断学	武内重五郎	南江堂	8,715 円
診察診断学	高久史麿 監修 橋本信也、福井次矢	医学書院	6,300 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験：講義及び実習内容について筆答試験を行う。

実技試験：共用試験OSCE（客観的臨床技能試験）により実技試験を行い修得度を判定する。

出席：講義・実習とも出席状況を評価に入れる。

評価方法：筆記試験と実技試験を総合して評価する。

成績評価の基準：総点の60%以上かつ実技試験の60%以上を合格とする

5. 教員名

第一内科：川上、阿比留、中村、安藤、白石、赤澤

第二内科：河野、福島、尾長谷、石松、中村、西野

循環器内科：前村、河野、池田、小出、深江、恒任、土居、武野、石松、古賀、米倉、中田

原研内科：宮崎、波多、今泉

熱研内科：有吉、森本、古本、神白、高木

消化器内科：中尾、竹島、大仁田、田浦

第二外科：江口、虎島、久芳、崎村、米田、小坂、小林

放射線科：上谷、坂本、工藤

検査部：柳原、長谷川、森永

耳鼻科：高橋、渡邊

眼科：北岡

光学医療診療部：磯本

総合診療科：大園、中道、井上

先端医育支援センター：安武

6. 備考（準備学習等）

実習の前には、基本的臨床技能マニュアル(長崎大学医学部編)やその他の教科書であらかじめ予習しておくこと。

診断学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	1	水	2	外科学診断学総論	直腸・肛門の診察, 外科縫合	第2外科 虎島	第4
10	1	水	3	放射線診断学総論	X線撮影, CT, MRI	放射線科 上谷	第3
10	1	水	4	放射線診断学総論	造影検査と造影剤	放射線科 坂本	第3
10	8	水	2	外科学診断学総論	乳腺・リンパ節の診察, ガウン テクニック	第2外科 久芳	第4
10	8	水	3	診断学総論①	基本的身体診察	総診 中道・井上	第3
10	8	水	4				
10	15	水	2	臨床検査医学総論	検査診断学総論	検査部 森永	第4
10	15	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
10	15	水	4				
10	22	水	2	臨床検査医学総論	血液・血清診断学	検査部 長谷川	第4
10	22	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
10	22	水	4				
10	29	水	2	症候診断学①	症候診断学とMEDLINE	第一内科 川上	第4
10	29	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
10	29	水	4				
11	5	水	2	診断学総論②	診断のプロセス, 医療面接	総診 大園	第4
11	5	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
11	5	水	4				
11	12	水	2	臨床検査医学総論	微生物検査診断学	検査部 柳原	第4
11	12	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
11	12	水	4				
11	19	水	2	放射線診断学総論	医療被曝と放射線防護	放射線科 工藤	第3
11	19	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
11	19	水	4				
11	26	水	2	内視鏡診断学総論	消化管非腫瘍	光学 磯本	第3
11	26	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
11	26	水	4				
12	3	水	2	内視鏡診断学総論	消化管腫瘍	光学 磯本	第3
12	3	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
12	3	水	4				

診断学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	9	火	3	症候診断学②	呼吸器診断学のポイント	第2内科 河野	第3
12	9	火	4	症候診断学③	循環器診断学のポイント	循環器内科 前村	第3
12	10	水	2	眼底の診察法	眼底鏡（直像及び倒像鏡）の原理と実際	眼科 北岡	第3
12	10	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
12	10	水	4				
12	16	火	3	症候診断学④	血液疾患の兆候から診断までのプロセス	血液内科 宮崎	第3
12	16	火	4	症候診断学⑤	発熱患者へのアプローチ	熱研内科 古本	第3
12	17	水	2	鼓膜の診察法	耳鏡の使い方	耳鼻咽喉科 渡邊	第3
12	17	水	3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
12	17	水	4				
12	24	水	2	症候診断学⑥	腹痛の診断学	消化器内科 竹島	第3
12	24	水	3	内科診断学総論実習①	実習要項参照	内科・総合診療科	
12	24	水	4				
1	7	水	2	OSCE	OSCEについて	先端医育支援センター 安武	第3
1	7	水	3	内科診断学総論実習②	実習要項参照	内科・総合診療科	
1	7	水	4				

7. 診断学実習要領

(1) 総論実習

A～Pの16グループに分かれて、基本的身体診察法を学ぶための実習を2回（12/24, 1/7の午後）、下表の指導教員のもとで行う。各実習日の13:30に下表の場所に集合すること。

グループ (履修番号)	指導担当教官	集合場所・実習場所
A ()	白石裕一 (第1内科)	病院7階 シミュレーション室
B ()	阿比留教生 (第1内科)	病院7階 シミュレーション室
C ()	中村英樹 (第1内科)	病院7階 シミュレーション室
D ()	石松祐二 (第2内科)	病院3階 呼吸器内科外来集合
E ()	福島千鶴 (第2内科)	病院3階 呼吸器内科外来集合
F ()	尾長谷靖 (第2内科)	病院3階 呼吸器内科外来集合
G ()	河野浩章 (循環器内科)	病院2階 循環器内科外来
H ()	小出優史 (循環器内科)	病院2階 循環器内科外来
I ()	竹島史直 (消化器内科)	病院3階 消化器内科外来
J ()	田浦直太 (消化器内科)	病院9階 ゼミ室
K ()	波多智子 (原研内科)	病院3階 血液内科外来待合室・診察室
L ()	今泉芳孝 (原研内科)	病院3階 血液内科外来
M ()	森本浩之輔 (熱研内科)	病院3階 呼吸器感染症外来
N ()	神白麻衣子 (熱研内科)	病院3階 呼吸器感染症外来
O ()	中道聖子 (総合診療科)	第4講義室/1F総診外来
P ()	井上圭太 (総合診療科)	第4講義室/1F総診外来

☆ A・Bは総論実習のグループ編成を示す。以下同様

☆ グループ編成は後日知らせる。

☆ 実習（総論、各論）の開始は13:30からである。講義とは異なっている
ので気をつけること

(2) 各論実習

下記の日程に従って、神経、血液、感染症、代謝、内分泌、消化器、呼吸器、循環器、膠原病、腎臓、外科、プライマリケア、疾患についての基本的診断手技の実習を10回行う。

各論実習ローテーション表

実習期日			10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17
実習項目 担当責任教員	実習時間	集合場所 実習場所	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
神経疾患 (第1内科) 白石裕一	13:30~15:00	病院本館9F 多目的室1 (第一会議室)	I・II	I・II	IX・X	IX・X	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV
	15:20~16:50		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV	
膠原病疾患 (第1内科) 中村英樹	15:20~16:50	病院本館9F 多目的室1 (第一会議室)		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV
血液疾患 (原研内科) 今泉芳孝	13:30~15:00	病院3階 血液内科外来	III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI	
感染症疾患 (熱研内科) 田中健之・高木理博	15:20~16:50	国際医療センター3階 カンファ室	III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI	
代謝疾患 (第1内科) 赤澤 諭	13:30~15:00	病院本館9F 多目的室1 (第一会議室)		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI
内分泌疾患 (第1内科) 安藤隆雄	15:20~16:50	病院9F チェアマン室		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI
消化器疾患 (消化器内科) 大仁田賢	13:30~15:00	病院9階 ゼミ室	V/VI	V/VI	III/IV	III/IV	I/II	I/II	IX/X	IX/X	VII/VIII	VII/VIII
	15:20~16:50		V/VI		III/IV		I/II		IX/X		VII/VIII	
プライマリケア・ BLS (総合診療科) 井上圭太	15:20~16:50	第3講義室		V・VI		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII
呼吸器疾患 (第2内科) 中村洋一	13:30~15:00	病院9階 ゼミ室	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV	I・II	I・II	IX・X	IX・X
	15:20~16:50		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II		IX・X	
腎臓疾患 (第2内科) 西野友哉	15:20~16:50	病院9階 ゼミ室		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II		IX・X
循環器疾患 (循環器内科) 池田 他	13:30~15:00	病院7階 シミュレーション室	IX・X	IX・X	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV	I・II	I・II
	15:20~16:50		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II	
外科 (第2外科) 崎村 他	15:20~16:50	病院7階 シミュレーション室		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II

- ☆ I・IIは各論実習のグループ編成を示す。以下同様
- ☆ グループ編成は後日知らせる。
- ☆ 総論と各論でグループ編成が異なることに注意
- ☆ BLS:Basic Life Support
- ☆ 実習(総論、各論)の開始は1:30からである。講義とは異なっているので気をつけること

放射線医学

責任者	氏名	上谷 雅 孝	内 線	7353
	教室	放射線医学 (放射線診断治療学)	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Radiology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標 と 2. 授業内容

放射線医学は、放射線診断学、核医学および放射線治療学から成り立っている。放射線診断学には、胸部、消化器、循環器、骨軟部、泌尿器、脳神経などの疾患の診断が含まれ、診断法としては単純X線撮影、種々の造影X線検査、超音波検査、CT、MRIなどがある。これらの中には放射線を用いないものも含まれ、画像診断と呼ばれることも多い。本講義では、各種診断法及び核医学検査の基本的な原理、正常像および代表的な疾患の異常像を学び、また放射線治療の原理と基本的な技術および適応について学ぶ。到達目標は、国家試験レベルの代表的疾患の画像診断ができるようになること、および放射線治療の適応・方法についての理解である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準放射線医学 第7版	西谷 弘 他編	医学書院	10,500円
画像診断を学ぼう 単純写真とCTの基本	Hering W 著、江原 茂訳	メディカルサイエ ンス・インターナ ショナル	6,800円
スクワイア放射線診断学	Novelline RA著、藤原卓哉訳	羊土社	8,400円
新版胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800円
胸部単純X線アトラス	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,500円

4. 成績評価の方法・基準

4年時学年末試験にて60%以上の得点率にて合格とする。

5. 教員名

放射線科：上谷雅孝、坂本一郎、森川 実、林 秀行、進藤美智子、末吉英純、瀬川景子、井手口玲子

臨床腫瘍学：芦澤和人

メディカル・ワークライフバランスセンター：伊東昌子

原研アイソトープ診断治療学：工藤 崇

非常勤講師：林 靖之（長崎原爆病院）

6. 備考（準備学習等）

画像診断や放射線治療の理解は、各疾患の病態生理・病理学等の理解が基本となる。これまで学習してきた各臓器・領域の主な疾患について復習しておいてほしい。

放射線医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	3	金	2	胸部（1）	臨床腫瘍学：芦澤	第3
10	10	金	2	胸部（2）	臨床腫瘍学・芦澤	第3
10	17	金	2	骨・関節（1）	放射線科・上谷	第3
10	24	金	2	骨・関節（2）	放射線科・上谷	第3
10	31	金	2	脳神経（1）	放射線科・森川	第3
11	14	金	2	脳神経（2）	放射線科・井手口	第3
11	21	金	2	放射線治療（1）	放射線科・林（靖）	第3
12	5	金	2	放射線治療（2）	放射線科・山崎	第3
12	12	金	2	腹部（1）	放射線科・林（秀）	第3
12	19	金	2	腹部（2）	放射線科・進藤	第3
12	26	金	2	乳腺	放射線科・瀬川	第3
1	6	火	3	核医学（1）	アイソトープ診断治療学・工藤	第3
1	6	火	4	核医学（2）	アイソトープ診断治療学・工藤	第3
1	9	金	2	骨粗鬆症・骨塩定量	メディカルワークライフバランスセ・伊東	第3
1	13	火	3	心・大血管	放射線科・末吉	第3
1	16	金	2	血管造影・IVR	放射線科・坂本	第3

臨床検査医学

責任者	氏名	柳原 克紀	内線	7574
	教室	臨床検査医学 (病態解析・診断学)	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Laboratory Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：医療における検査の意義を系統的に理解し解釈する能力を養う。

方法（学習指導法）：講義形式とし、プリントやプロジェクターを用いて解説する。

到達目標：検査情報を正しく分析・解釈することができ、また検査情報を活用した適正な医学的判断能力を習得できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

正しい臨床診断を得るためには検査データの科学的かつ総合的な解釈能力が要求される。病院の中核部門の1つである検査部や輸血部で行われている検査について理解を深め、各種検査についての基本的知識や解釈原理、異常値が出る病態生理学的機序を理解する授業を行う。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社
臨床検査ガイド 標準臨床検査医学 臨床検査法提要 よくわかる輸血学・改訂版 移植・輸血検査学 血液細胞アトラス	大久保光夫	文光堂 医学書院 金原出版 羊土社 講談社 文光堂
Handbook of Hematologic Pathology Molecular Diagnostics Methods and Clinical Applications	Lela Buckingham	Marcel Dekker Inc, USA F. A. Davis
戸田新細菌学	吉田眞一、柳雄介、 吉開泰信	南山堂
標準臨床検査学「微生物学・臨床微生物学・ 医動物学」	一山智、田中美智男	医学書院

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行い、60点以上を合格とする。講義に1/3以上欠席すると受験の資格はないものとする。

5. 教員名

臨床検査医学：柳原克紀、長谷川寛雄、森永芳智、宇野直輝、小佐井康介
病院細胞療法部：長井一浩

6. 備考（準備学習等）

授業の前に参考書で予習をしておくこと。

臨床検査医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	1	水	1	医療と臨床検査	臨床検査医学・柳原	第4
10	8	水	1	検査値の解釈原理	臨床検査医学・柳原	第4
10	15	水	1	一般・検査血液学	臨床検査医学・長谷川	第4
10	22	水	1	臨床化学検査総論	臨床検査医学・宇野	第4
10	29	水	1	臨床化学検査各論（1）	臨床検査医学・森永	第4
11	5	水	1	臨床化学検査各論（2）	臨床検査医学・森永	第4
11	12	水	1	生理機能検査	臨床検査医学・森永	第4
11	19	水	1	微生物検査（1）	臨床検査医学・小佐井	第3
11	26	水	1	微生物検査（2）	臨床検査医学・小佐井	第3
12	3	水	1	輸血（1）	病院細胞療法部・長井	第3
12	10	水	1	輸血（2）	病院細胞療法部・長井	第3
12	17	水	1	免疫血清検査	臨床検査医学・長谷川	第3
12	24	水	1	遺伝子検査総論	臨床検査医学・宇野	第3
1	7	水	1	遺伝子検査各論	臨床検査医学・長谷川	第3
1	13	火	4	総括	臨床検査医学・柳原	第3

外科治療学

責任者	氏名	江口 晋	内線	7312
	教室	移植・消化器外科学	e-mail	sueguchi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00~18:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Surgical Therapeutics		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

外科治療学では外科総論、救急医学、臓器移植と人工臓器および麻酔科学について学ぶ。

2. 授業内容（講義）

外科総論においては外科的侵襲と手術患者の病態生理を理解し、基本的手術手技や術前術後管理を中心に学ぶ。救急医学においては救急患者の診断および重症病態の管理について学ぶ。臓器移植においては臓器移植の種類、内容と移植免疫、人工臓器においては人工臓器の種類と必要条件および問題点を中心に学ぶ。麻酔科学においては麻酔法、麻酔薬および呼吸循環管理など周術期管理を中心に学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
標準外科学 13版	監修：加藤治文	医学書院	8,925 円
Principles of Surgery, 9th ed.	Schwartz S. I.	McGraw-Hill	15,513 円
Textbook of Surgery, 19th ed	Sabiston D. C	Saunders	16,334 円
TEXT麻酔・蘇生学 3版	澄川耕二、土肥修司編	南山堂	6,500 円
外傷初期診療ガイドライン	日本外傷学会・日本救急医学会 監修	へるす出版	16,800円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行い評価する。60点以上を合格とする。再試験は1回行なう。

5. 教員名

腫瘍外科：永安 武、大畠雅之、七島篤志、山崎直哉、土谷智史、竹下浩明、日高重和、矢野 洋

移植・消化器外科：江口 晋、黒木 保、山之内孝彰、日高匡章、北里 周、足立智彦、曾山明彦、虎島泰洋、米田 晃、久芳さやか

麻酔科：原 哲也、諸岡浩明（済生会長崎病院）、福崎 誠（長崎労災病院）、

北條美能留、境 徹也

集中治療部：関野元裕

救命救急センター：田崎 修、長谷敦子、山下和範、田島吾郎、猪熊孝実、山野修平

外傷センター：宮本俊之

心臓血管外科：谷川和好

泌尿器科：錦戸雅春

6. 講義時間割 ① 8:50-9:50 ② 9:55-10:55 ③ 11:00-12:00
④ 13:00-14:00 ⑤ 14:05-15:05 ⑥ 15:10-16:10

7. 備考（準備学習等）

解剖学、生理学、臓器機能・体液系を復習しておく。

外科治療学授業予定(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
10	2	木	1	老人外科の特徴	(1)老人外科の特徴、(2)手術適応、(3)周術期管理の特徴	腫瘍外科	矢野 洋	第3
				移植と人工臓器	呼吸器系の移植と人工臓器	腫瘍外科	土谷智史	
			2	麻酔科学(1)	歴史・専門医制度・麻酔科学の領域	麻酔科	原 哲也	
10	9	木	1	外科の歴史と外科医の立場	(1)外科の歴史、(2)外科医と法、(3)専門医制度	移植・消化器外科	江口 晋	第3
				問診ならびに外科的診察法	(1)病歴、(2)理学的所見	移植・消化器外科	黒木 保	
			2	麻酔科学(2)	全身麻酔-吸入麻酔法	麻酔科	原 哲也	
10	16	木	1	術前・術後の患者管理(1)	(1)術前の患者管理一般、(2)術前の特殊状態の評価と管理	腫瘍外科	永安 武	第3
				救急医学(1)	心肺蘇生法と脳死判定	救命救急センター	長谷敦子	
			2	麻酔科学(3)	全身麻酔-静脈麻酔薬・筋弛緩薬	麻酔科非常勤講師： 済生会長崎病院	諸岡浩明	
10	23	木	1	術前・術後の患者管理(2)	(3)術後の患者管理一般、(4)術後合併症とその対策	腫瘍外科	永安 武	第3
				救急医学(2)	救急医学概論、救急医療システム	救命救急センター	田崎 修	
			2	麻酔科学(4)	局所麻酔薬・浸潤麻酔・伝達麻酔	麻酔科	原 哲也	
10	30	木	1	小児外科の特徴	(1)小児外科の特徴、(2)新生児・未熟児の特徴、(3)術前・術後の栄養管理	腫瘍外科	大畠雅之	第3
				救急医学(3)	救急診察法及び診断、外傷初期診療	救命救急センター	猪熊孝実	
			2	麻酔科学(5)	脊髄麻酔と硬膜外麻酔	麻酔科	原 哲也	
11	6	木	1	炎症と感染(1)	(1)炎症の概念と病態生理、(2)臨床症状と所見、(3)外科的感染症の起炎菌	腫瘍外科	山崎直哉	第3
				損傷と創傷治癒	(1)機械的損傷、(2)非機械的損傷、(3)創傷の治癒過程、(4)創傷治癒を左右する因子、(5)創傷管理の実際	移植・消化器外科	虎島泰洋	
			2	麻酔科学(6)	周術期全身管理-呼吸管理	麻酔科	原 哲也	
11	13	木	1	炎症と感染(2)	(4)全身感染症と敗血症、(5)外科的特殊感染症、(6)治療	腫瘍外科	山崎直哉	第3
				体液の変動と輸液	(1)正常体液分布、(2)侵襲と体液変動、(3)水・電解質異常、(4)酸塩基平衡傷害、(5)輸液療法	移植・消化器外科	日高匡章	
			2	麻酔科学(7)	周術期全身管理-循環管理	麻酔科	原 哲也	
11	20	木	1	基本的な外科手術手技	(1)手術器具、(2)基本的手術操作、(3)小外科手術手技	腫瘍外科	日高重和	第3
				血液凝固異常と輸血	(1)止血機構、(2)止血機構の傷害、(3)輸血の目的、(4)血液製剤の種類と特徴、(5)輸血法、(6)輸血の副作用と合併症	移植・消化器外科	曾山明彦	
			2	麻酔科学(8)	周術期全身管理-体液管理	麻酔科	原 哲也	

外科治療学授業予定(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
11	27	木	1	外科と免疫(1)	(1)免疫機構と調節、(2)腫瘍免疫	移植・消化器外科	米田 晃	第3
				救急医学(4)	環境異常と生体反応	救命救急センター	田島吾郎	
			2	麻酔科学(9)	集中治療と急性重症病態	集中治療部(麻酔科)	関野元裕	
12	4	木	1	外科と免疫(2)	(3)移植免疫、(4)免疫不全と日和見感染	移植・消化器外科	米田 晃	第3
				救急医学(5)	災害医療(特別講義)	救命救急センター	山下和範	
			2	麻酔科学(10)	ペインクリニック-痛み診療の基礎	麻酔科	境 徹也	
12	11	木	1	腫瘍(1)	(1)良性腫瘍と悪性腫瘍、(2)発癌メカニズム、(3)悪性腫瘍の病態	移植・消化器外科	足立智彦	第3
				救急医学(6)	外傷治療プロトコール	外傷センター	宮本俊之	
			2	麻酔科学(11)	ペインクリニック-CRPS・腰下肢痛	麻酔科非常勤講師： 長崎労災病院	福崎 誠	
12	18	木	1	外科と栄養(1)	(1)外科における栄養管理の意義、(2)栄養アセスメント	腫瘍外科	七島篤志	第3
				救急医学(7)	熱傷、化学損傷、電撃症	救命救急センター	山野修平	
			2	麻酔科学(12)	緩和医療	麻酔科	北條美能留	
			3	ショック(1)	(1)ショックの概念、(2)ショックの原因と分類、(3)ショックの病態	腫瘍外科	竹下浩明	
				外科的侵襲と生体反応(1)	(1)神経内分泌系の反応、(2)循環系の反応、(3)代謝系の反応	移植・消化器外科	北里 周	
			4	外科的侵襲と生体反応(2)	(4)免疫系の反応、(5)血液凝固系の反応、(6)術後の生体反応と回復過程	移植・消化器外科	山之内孝彰	
12	25	木	1	外科と栄養(2)	(3)経腸栄養、(4)経静脈栄養	腫瘍外科	七島篤志	第3
				腫瘍(2)	(4)臨床診断と特殊検査、(5)悪性腫瘍の治療、(6)悪性腫瘍の疫学	移植・消化器外科	久芳さやか	
			2	移植と人工臓器	泌尿器系の移植と人工臓器	泌尿器科	錦戸雅春	
				移植と人工臓器	消化器系の移植と人工臓器	移植・消化器外科	江口 晋	
			3	ショック(2)	(4)ショックの治療、(5)ショックの合併症とショック臓器	腫瘍外科	竹下浩明	
				移植と人工臓器	循環器系の移植と人工臓器	心臓血管外科	谷川和好	

医学ゼミ

責任者	氏名	西田 教行	内線	7057
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期、後期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

平成26年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(4年生)

教室名	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考	受講可能 人数
鹿島へき地医療学講座 地域医療学分野	前田隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現状を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての意義を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現状に滞在し(原則3泊4日)、地域医療に即座する講義、ワークショップ、施設見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	1年前期 2年前期 3年前期 原則別、地域枠対象。	24名	8月22日(金)～8月24日(日)で前泊は不要です。	長崎県五島市	出席・発表・レポート	地域枠入学生を対象とする。地域枠入学生以外の学生の希望については、定数に空きがある場合に受け入れる。※実費についてはゼミを通じて4000円/人予定しています。	24名
熱研内科	有吉 也	熱帯医学入門	授業のわらわは、将来熱帯医学研究医を目指す学生に、熱帯医学における基礎医学研究の重要性を理解させ、熱帯医学に関連する幅広い視野を持たせたい。その方法として、本学において進行中の基礎医学研究活動を紹介します。本学の取り組みに興味を頂かせます。	熱帯医学に関する基礎医学研究を実施している本学医学系基礎研究分野教室及び熱帯医学研究所基礎教室の教授が、各分野の背景を平易な用語で説明しながら、研究活動の概要を紹介する。	1年前期 2年前期	10名程度	月曜日5校時	熱帯医学研究所1階 小会議室	出席状況、レポート(英文)提出等を考慮して評価する。	熱帯医学研究医AO学生を優先して	10名程度
地域医療学	前田隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	-地域医療に関する論文や記事、教科書、書籍を調べ、共有し理解を深める。 -実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 -現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 -月に一回進行する。地域医療の現場へ個人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 3年前期 ※1年は地域枠のみ、4年は定員に満たない場合入室。	10名	水曜日夕方17時～18時30分(7回程度) 月一回授業金曜日17時30分～20時30分(地域医療研究会)(4回程度) 上記の全てに出席する必要があります。	地域医療学分野ゼミ 1階 医学部基礎棟6階)ポニーホール(予定)	出席レポートとゼミ受講態度	1年次は地域医療枠の学生のみ受け入れる。 4年次は定員に満たない時に受け入れる。	10名
原研国際	高村 昇	国際保健入門(1)	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	原研各分野の教員が、それぞれの分野の背景・活動内容を平易に説明・紹介する。あわせて国際保健、国際医療のトピックについて情報収集し、発表を行うことで、国際保健・国際医療の実際についてより深い理解を得る。	1年前期	10名	月曜日5校時	原研3階3号コミュニケーションセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容を考慮して評価する。		10名
原研国際	高村 昇	国際保健入門(2)	一年時に引き続き、AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、国際保健に関する成書の輪読会を行い、あわせて国際保健に関する概説を行う。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	「Textbook of International Health」をはじめとする国際保健の英文資料を輪読することで国際保健、国際医療の実際についてより深い理解を得る。	2年後期	10名	月曜日5校時	原研3階3号コミュニケーションセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容を考慮して評価する。		10名
肉眼解剖	弦本 敏行	解剖学実習をもう一度(内臓学を中心に)	臨床科目を履修した高学年の学生が、それらの科目での理解を意図しながら肉眼解剖学実習を再体験する	2年生学生の肉眼解剖学実習の進行に合わせて、内臓学を中心に連続的に自ら進める。①前庭・喉頭・心臓・肺・大腸・小腸・腎臓②下・上消化器③泌尿器④小腸・大腸⑤後頭・頤・顎⑥骨盤内臓の神経・血管⑦深層・頤・顎	3年前期 4年前期	30名まで	木曜日5、6校時 内臓が解剖できるようにする期間(5、6月)に集中的に計8回開講します。	解剖実習室	出席、レポート、質疑応答	木曜日5、6校時に参加できる人に限る	30名まで
組織解剖	小路 武彦	エビジェネティクス-その顕微鏡前編について考える	ヒトは一つの受精卵から発生し、多くの種類の細胞の増殖、分化し、死が適切に制御され恒常性を維持している。DNAのメチル化、ヒストン修飾といったエピジェネティック因子がこれらの制御に於いて中心的な役割を果たすと考えられており、その異常は癌を始め様々な疾患を引き起こす。そこで、日本製のゲノムデータ、エビジェネティクス研究の進展及び最新の知見を補助する上にも最新の論文から最新知見との関わり、治療への応用の可能性について議論する。	エビジェネティクスについての基礎知識、研究の歴史について概説から学習した後、最先端研究の原著論文を読みその内容を発表する。原著論文を読むことにより医学的な課題に対する科学的なアプローチ法の一環を学ぶとともに、科学英語の読解能力、プレゼンテーション能力を養う。	3年前期	10名	金曜日1校時	小会議室	発表内容と議論への参加態度並びに出席にて評価		10名
神経形態	森 望	Neuroanatomy of the Mind:心の神経解剖学	神経解剖学、神経生理学の知識をベースに「認知」「意識」「感情」「感性」「行動」「思考」等の脳内現象を理解する。その上で、「心」がどう生まれ、脳、心臓との関係、あざむき、ゆらぎ、前兆の心、自分の心で考える。脳神経科学、精神医学への横断しとする。自らの頭で考え、自らの言葉で語り、自らのスタイルで発表できるようにする。	脳には形があるが、心には形がない。しかし、心は脳内に生まれる。では、脳にはどう形成されるのか?現代の神経科学、脳科学の知識をベースに、心の形成のナゾへ進む。	2年前期	10~15名	金曜日1校時	視聴覚室 または セミナー室	出席、発表内容、質疑応答、レポート		10~15名
神経生理	藤原 一之	心の個人差・発達障害の脳科学	英語論文、原著論文を通して、心の個人差・発達障害の脳科学的基盤について理解を深めるとともに、英訳・英訳・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差、及び、社会的コミュニケーション能力障害を呈する発達障害と、記憶・感情・連字・多動・内分分泌機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これら心の個人差・発達障害の生物学的基盤に関する最新の研究論文を読み、その内容に関するプレゼンテーションを行う。また、心の科学で用いられる脳機能測定・行動計測技術に関する実習を行う。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英訳・英訳・プレゼンテーション能力を養う。	2年前期 3年前期	10~15名	金曜日1校時	医学部基礎研究等1F セミナー室	出席、レポート、発表資料を総合的に評価する。		10~15名
薬理学	有賀 純	論文から学ぶ薬理学	分子生物学の最新の知見に触れ、深い理解を得る。再生医療を取り組む基盤をつくる。	実験動物を用いて行われた薬理学・再生医学の研究論文のうち、研究の深さに大きな影響を与えた重要な英語論文を選び、その内容を発表・議論する。	2年前期 2年後期 3年前期 4年後期	10名	金曜日1校時	薬理学教室セミナー室	出席状況、発表内容を考慮して評価する。		10名
探索薬理学	下川 功	楽しい薬理学	1)前掲の検討を通して、疾患の発症から死に至る過程を理解する。2)検討内容を発表する方法を学ぶ。	既発表の症例検討、発表	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	病理学第一医局図書室	症例を検討する姿勢、発表内容について総合的に評価する。	希望者が3名未満の場合は、開講しない。開講時は原則定員の通りであるが、自主学習を重んじるので、全員が集まる時間帯は、実習者と調整する。	10名
免疫機能	由井 亮之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を養う。免疫学の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自習した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方は適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金1校時	免疫機能制御学分野 実習室	発表内容、参加態度、レポート、出席を総合的に評価		10名
分子疫学	ブニータ・ゴーンチャン中込 浩	成書で読む熱帯医学(ウイルス性胃腸炎の世界)	日本の疫学と欧米(に限らない)の疫学の違いの一つは、reading assignmentの量である。英語が共通の媒体となるロー・リソース熱帯医学の分野に関するある学生を対象に、この分野の標準的教科書のone chapter (viral gastroenteritis)を読むことを通して、教科書の読み方を習得する。	英国の熱帯医学の成書であるManson's Tropical Diseasesおよび英国のHunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Diseasesの viral gastroenteritisの章を学生が分担して読むこと(翻訳することではない)により、①質問を説明するとはどういうことか、②教科書がどのような文脈のコンテキストに基づいて記述されているか、また、③著者がどのようにまとめているかを理解する。	2年前期 3年前期 4年前期	1~8名	金曜日1校時	分子疫学教室	出席・発表・レポートで総合的に評価する。	熱帯医学研究医AO学生の学生およびこの分野に興味のある学生を対象。本ゼミはすべて英語で行う。	1~8名
公衆衛生	青柳 洋	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会的性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート		10名
法医学	山本 琢磨	異状死とは?死看からの伝言	法医学教室ではさまざまな死と遭遇する。事件現場でも頻度で死、死には必ず原因があり、生には原因にその原因が付随している。各々の症例についてそんな観点から考え、異状死(突然死)について医療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報告書、死体検案書、解剖検案書などを参考に、「なぜか?」を考えた。さらには「どこか?」は「どこか?」を考えた。適宜、論文資料を加え、最終的に症例報告として報告書まとめる。	4年後期	10名以下	金曜日5校時	基礎棟6階法医学教室 大学院セミナー室	総合的に評価する		10名以下
第一内科	川上 純	臨床家地問から学ぶ神経、内分分泌代謝、リウマチ・膠原病学	臨床家地問から学ぶ神経、内分分泌代謝、リウマチ・膠原病学	国家試験、卒業試験問題の演習を通して病態の把握が不十分な点について解説する。	4年後期	6名	木曜日17時～18時30分	本館9階919目の書	総合評価		6名
第二内科	松浦 厚人	内科診療実技編	教科書を読むだけではわからない、内科臨床に求められる実践的な判断力、手技を身につける。	模擬病歴、実際の画像、シミュレーターなどを用いて実践的な内科の知識と手技の習得を目指す。	4年後期	10名	金曜日1校時	病院12階カンパレン大並集合、必要に応じてカンパレンセンターへ移動。	出席状況、レポート、討論への参加具合の評価		10名

教養名	責任者名	セミナー (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考	受講可能 人数
消化器内科	市川 辰樹	検査データでどこまでわかる肝疾患	検査データを読むことで肝疾患の本質を捉える	電子カルテを参照し症例から学ぶ	2年前期 3年前期 4年前期	15名	水曜午後5時から1時間	医局9階905号会議室	毎回理解を口頭で確認		15名
消化器内科	市川 辰樹	検査データでどこまでわかる肝疾患	検査データを見ることで肝疾患の奥層を知る	電子カルテを参照し症例を理解する	2年後期 4年後期	15名	水曜午後5時から1時間	医局9階905号会議室	毎回理解を口頭で確認		15名
消化器内科	田浦 直太	症例から学ぶ肝疾患	肝臓病を基礎から学ぶ	肝疾患についてのレクチャー	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	10名	水曜午後5時から6時	3階医局会議室	セミナーでの内容	高学年優先	10名
消化器内科	田浦 直太	症例から学ぶ肝疾患	肝臓病を基礎から学ぶ	肝疾患についてのレクチャー	1年後期 2年後期 4年後期	10名	水曜午後5時から6時	3階医局会議室	セミナーでの内容	高学年優先	10名
消化器内科	竹島 史直	GUT CLUB	様々な腸疾患の臨床をより深く学ぶ	入院、外来の症例検討を行うことで腸疾患に対する興味を喚起するとともに、それに関する最新の英文臨床研究Update to Dateの抄読会を通じて理解を深める。	4年前期	6名	金曜日16時30分～17時30分	消化器内科医局	出席や発表内容より総合的に評価		6名
消化器内科	中尾 一彦	臨床実地問題から学ぶ消化器病	国家試験、卒業試験問題の演習を通して消化器疾患に対する理解を深める	国家試験、卒業試験問題の演習を通して病態の把握が不十分な点について解説する。	4年後期	12名	金曜日17時～18時	消化器内科医局	総合評価		12名
消化器内科	磯本 一	消化器臨床研究最前線	上部(胃・食道)消化管を中心に、消化器臨床研究の最新情報に関する海外文献・成書を抄読する。ときに、実際に臨床・内視鏡検査などを行ったモデル症例を通して、消化器内科、そして内科学の興味を喚起する。	上部(胃・食道)消化管を中心に、消化器臨床研究の最新情報に関する海外文献・成書を抄読する。ときに、実際に臨床・内視鏡検査などを行ったモデル症例を通して、消化器内科、そして内科学の興味を喚起する。	4年後期	5名	月曜日5校時	内視鏡室	出席レポート		5名
循環器内科	前村 浩二	心電図読解(実地から学ぶ心電図判読)	心電図に対する苦手意識をなくし、おもに心電図が読めるようになることをめざす。	講義で学んだだけでは、心電図判読に苦手意識を持つ学生が多い。心電図判読のコツは最初初心電図判読の作法を理解した上で、多くの症例の心電図を自分で読み取ることである。本ゼミでは、さまざまな症例の心電図を自分で実際に読み取ってもらい、それを教師が判読のコツを伝えている。後半では症例に即してクイズ形式で読み取ってもらう。	4年後期	10名	金曜日5校時	病院本館9階セミナー室(906)	出席率、討論参加度		10名
精神科	小澤 寛樹	映画から見る精神医学	具体的なイメージにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学を取り扱った映像作品を毎回取り上げ鑑賞し、1～2、3人がその疾患に関して事前研究と資料作成、講義当日にプレゼンテーション。また様々なトピックでのディスカッションを実施する事で、能動的な参加姿勢を養う。	2年後期 4年後期	10名 (希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)	原則として水曜4～5校時(17時開始)。日曜は初回時に参加する人と協議して決定	第3(≒第4)講義室	視聴後にディスカッションへ参加意欲の評価50%。各回の提出レポート・最終回の提出課題の内容50%	毎回映画の視聴後にテーマディスカッション。期間内で5校時目以降に他科目を受講する必要がある人、その他予定のある人などは、その点留意して下さい。	(希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)
精神科	小澤 寛樹	医療経済・政策を考える	医療従事者に必要な経済的素養、政策動向などを学ぶ	本ゼミでは参加者個々による研究発表や医療業界・政策に関する政策提言などを促す講演を聞く事などを通じて、医療従事者として必要なビジネス・経営に関する素養を育成する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名 (希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)	原則として水曜4～5校時(17時開始)。日曜は初回時に参加する人と協議して決定	第3(≒第4)講義室	ディスカッション等へ参加意欲の評価50%。各回の提出レポート・最終回の提出課題の内容50%	毎回テーマディスカッション、講義等21時頃まで行います。期間内で5校時目以降に他科目を受講する必要がある人、その他予定のある人などは、その点留意して下さい。	(希望者数が超過した場合は、別途課題を課し選考の可能性あり)
精神科	今村 明	児童・思春期の精神医学を考える	精神医学の世界に於いて児童・思春期の精神医学はその社会的な重要性に於いて、専門家が不足している領域である。本ゼミではこの分野を中心に取り上げ、学んでいく。	児童・思春期精神医学についての概要を学んでいく。日本語文だけでなく、英語文献も読み、正確な知識を学ぶ。映像作品等の視覚的な学習も随時実施する。時間が許せば、課外実習として各種施設などを見学し、実際に学ぶ事も行いたいと考えている。	2年後期 2年後期	10名程度	月曜又は水曜の夕方(18時以降)	精神科医局(※予定)	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらう課題の成果 以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。	10名程度
精神科	黒滝 直弘	ハトグラフィーと司法精神医学を究める	ハトグラフィー(術後学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の発現を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを用いて学ぶ。	ハトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象として、ハトグラフィーによる分析を実施する。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	月曜又は水曜の夕方(18時以降)	精神科医局(※予定)	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらう課題の成果 以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。	10名程度
小児科	中嶋有美子(森内浩幸)	文学作品から読む小児疾患	小児疾患が登場する文学作品を読み、それぞれの時代に描かれた小児疾患について考察すること。小児疾患の特徴、医療の進歩、社会環境の変化について双方向きの学習の中で理解を深める。	大江健三郎、三島由紀夫、松本清張、宮部みゆき、アガサ・クリスティ、らの作家の作品の小児疾患が登場するものを読み、作家が描く小児疾患像を通して作家の思いやその時代における小児疾患をとりまく社会環境について考察する。併せて現在の医療環境と比較して、医療の進歩・社会環境の変化について考える。	2年前期	8人以下	金曜日1校時	10階医局カンファランス	出席点 レポート点		8人以下
腫瘍外科	大島豊之 日高寛和	鏡視下手術入門	外科系部門では専門に応じた鏡視下手術がめざましく進歩し、さまざまな分野でその技術が応用されている。鏡視下手術の歴史、理論を学びながら、実際に鏡視下手術を体験して最新の外科治療を体験してもらう。	鏡視下手術の基礎を学んだ後に実際にシミュレーターを使って体験して、基本的な鏡視下の使用からより高度なテクニックに挑戦する。機会があれば動物を使ったシミュレーション手術に参加する。	3年前期 4年前期 4年後期	4名	水曜日5校時	腫瘍外科医局、シミュレーション教室	期末レポート	シミュレーターの数と実施指導のため受講可能人数は4名に制限します。対象学年は高学年を優先します。	4名
移植・消化器外科	江口 晋	Nagasaki Surgical Club 外科の入門講座から家庭にははるかに遠くまで幅広い、選りすぐりの講座による座談会形式のゼミです。外科医法や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも取り入れています。	1. 外科の歴史(長崎の外科から世界の外科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術技術などの実技を含みます) 3. 診療、学会発表、設立つぎ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方考えます) 5. 消化器外科の最新知新・ビルドアップして知ってる? 6. 国に出る外科生(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてともに語ろう 8. 乳腺外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で趣(語り合います))	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日5校時	移植・消化器外科医局(第二カンファ室)	出席・ディスカッション内容	講義内容、順番は予定であり若干の変更があります。	10名	
泌尿器科	井川 草	マンガで学ぶ泌尿器科ってなんだ?	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿器科の解剖、機能および疾患の特徴などを系統的に捉えられるように、主にマンガやビデオ等のメディアを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これ一週間の学習からの補正を行う。また、簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	泌尿器科医局	出席率、討論への参加態度、発表、レポートなど		10名
産婦人科	増嶋英明 長谷川ゆり	女性医療の最新情報	産婦人科は主に産婦人科、婦人科腫瘍、生殖内分分泌および女性のヘルスケアの領域からなります。つまり、女性の一生をみる学問です。そこで、産婦人科が関与する医学分野では、妊娠・出産、産後、更年期、あるいは月経異常など様々な課題を取り上げ、最新の情報を通じて産婦人科の最新情報について見聞を深めてもらいます	産婦人科領域のトピックスを取り上げたプログラムを企画しています。参加者は学生のほか、産婦人科医局、研究発表、助産師が参加しています。周辺地域の産婦人科の関連施設から大病院あるいは長崎市民病院に搬送された症例を取り上げて、管理・治療における問題点や産科救急について討論します。ついて、各週の担当講師が産婦人科に関連する最新の文献、トピックスについて発表を兼ねながら解説していきます。研究についての検討会もあります。詳細には随時的に参加してください。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	火曜18:30～20:30	病院外棟11階 産婦人科ゼミ室	レポート		10名
病態病理	福岡順也、加島志郎、田中伴典	肺がんの病理診断(基礎)	一つの疾患(今回は肺がん)を通して疾患の病理診断のイロハと基本的な問題点を学ぶ	肺がんの病態から始まり、肺がんの病理組織学を学び、最新の診断と臨床によるアップデートを行い、これにより病理診断のイロハに臨床に生かされていることを知ることを目的とする。	1年後期 2年後期	10名	金曜日1校時	病院2F病理部長室	理解度とディスカッションのレベル		10名
病態病理	福岡順也、田中伴典、加島志郎	肺がんの病理診断(応用)	不明の病態に迫るディスカッション	最近の論文や症例を通じて病態を理解するディスカッション主体のゼミ	3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	病院2F病理部長室	理解度とディスカッションのレベル		10名

教室名	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考	受講可能 人数
臨床検査	柳原 克紀	Molecular Diagnostics	遺伝子検査方法について、理論と応用を学ぶ。	様々な遺伝子検査法や分子生物学的理論を ブライチカルに学ぶが目的で、「Molecular Diagnostics, 2nd edition, Lela Buckingham」の 輪読会を行っている。癌・遺伝性疾患・多型・ 微生物の診断など、これからの臨床検査に求 められる遺伝子検査法について理解を深め る。上野キリストが読み終わった場合は、目 的にかかわらず他の文献を教材とする。	3年前期 4年前期	10名	月2回木曜18時 ～19時	病院外来棟12階 臨床 検査医学医局カンファ レンスルーム	出席、議論参加		10名
救命救急センター	田崎 修	症例から救命救急 医療を学ぶ	救命医療に必要な基礎的知識や考え 方を症例を通して学ぶ	家庭に救命救急センターで治療した症例の面 像やデータを用いて、治療に必要な基礎的知 識、およびその臨床への応用の方法を学ぶ。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	救命救急センター医局	出席、態度、レポートな どにより総合的に評価 する。		10名
へき地病院再 生支援・教育機 構	鎌 新	離島、へき地医 療の導入に学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、こ れからの地域医療について考える	離島・へき地の第一線では活躍する医師を中 心に、地域医療に密接に関係する家庭医や、病 院総合医、プライドクター等も講師として招 き、実情について講義して頂き、地域医療とい う強固としたイメージをリアルな物として認識 する。希望者には、講演終了後に、ざくばら んに講師の先生と話ができる意見交換会も予 定している。更に理解を深める事が可能 である。ゼミの後半には、夏合宿や、実際に へき地や離島医療を体験する離島ツアーも 約3日程度で開催する予定である。そして、最 終日には、これらのゼミで学んだ事や、これか らの地域医療について、各自発表を行う。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期 4年後期	10名程度	金曜日5時間目	医学部基礎棟 1階 視聴覚教室	出席、レポート、地域医 療に関するプレゼンテ ーション等での総合的に 判定する。		10名程度
先端医学支援 センター	安武 享 山之内学影	在宅がん医療・ 緩和ケア入門	在宅がん医療・緩和ケアの基礎およ び多職種協働によるチーム医療を総 合的に学ぶ。	医・歯・薬・看護等専門職による講義とグル ープディスカッションにより行う。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期 4年後期	10名	木の18時30分 ～	ニュートリアル室(た だし薬学部の教室等要 更もあり得る)	出席、レポート等総合 的に評価する。		10名
先端医学支援 センター	安武 享	スポーツ医学概 論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学、スポーツ栄養学、スポーツ外傷 学、トレーニング法など	2年後期 3年前期	10名	火または木の5 校時	医学部セミナー室など	授業参加状況、レポート など		10名
先端医学支援 センター	松本 恵	術前・術後カン フランス	術前、術後カンフランスで実際の手 術症例を通して手術適応や術式決定 に至る経緯を学ぶことで今後の自分 の学習に活かす。	予定手術および術後症例の提示と検討	2年後期 4年後期	2名	毎週金曜日7時 30分から	第1外科(腫瘍外科)医 局(11階)	出席態度およびレポ ート内容		2名
先端医学支援 センター	松本 恵	術前・術後カン フランス	術前、術後カンフランスで実際の手 術症例を通して手術適応や術式決定 に至る経緯を学ぶことで今後の自分 の学習に活かす。	予定手術および術後症例の提示と検討	4年後期	1名	毎週金曜日7時 30分から	第1外科(腫瘍外科)医 局(11階)	出席態度およびレポ ート内容		1名
先端医学支援 センター	桑原宏永	PBLシナリオ研 究会	症例を用いたシナリオを作成する過程 でPBL実践を経験する。LACSを活用 することでアクティブラーニングを促進 する。	PBLシナリオを班員で作成する。PBL入門の みならず、シナリオを実際に作成することで症 例の理解を図る。また、臨床的問題の解決 に基礎医学的考え方が不可欠であることをシ ナリオ作成の過程で体験する。LACSを活用 することで参加メンバーの双方向的コミュニ ケーションを図る。	2年前期 3年前期	4名	水曜日17時～ 18時	第4セミナー室	参加状況、シナリオ作 成貢献度、LACSでの Wiki作成貢献度などを 総合的に評価します。		4名
先端医学支援 センター	桑原宏永	OSCE演習	共用試験OSCEを控えた学生に 「OSCEとはなに」が、「診断学との違 い」を解説し、共用試験対策を講じる。	OSCE学習用DVDを参考に実技を交えて診 断学の基礎を学ぶ。ペイツ、サブライを輪読しな がら、要点を解説します。	3年前期 4年前期	4名	水曜日17時～ 18時	第4セミナー室	参加状況、シナリオ作 成貢献度、LACSでの Wiki作成貢献度などを 総合的に評価します。		4名
地域包括教育	永田 康浩	医師になるって どんなこと？ 包括医療事始め	医師として患者治療の意義を知り、こ れに関わる医療資源と社会資源につ いて認識させる。	最先端医療のゴールは患者さんの社会復帰 である。疾病を患った患者が、医療機関で治 療を受け、社会に復帰するまでに、どれだけ の医療資源、社会資源を要するかを認識し、 理解する。これに関わる、基礎医学、臨床医 学、社会医学について考察する。	2年後期	8名	金曜日1校時	医学部セミナー室	出席態度およびレポ ート内容		8名

アドバンストリサーチセミナー

責任者	氏名	西田 教行	内線	7057
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		
対象年次・学期	4年前・後期, 5年前期・後期、 6年前期		講義形態	講義・実習
必修・選択	必修（研究医コース）		単位数	各1単位
英語名	Advanced research seminar			

1. 授業のねらい・目標

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。プレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで修得した基礎医学の基礎的学力をさらに発展させる。

2. 配属教室の選択方法

配属教室は、原則として、リサーチセミナーの配属教室とするが、変更を希望する場合は、教務委員会にて審議のうえ、変更を許可することがある。

3. 活動内容・履修方法等

配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

なお、5年次、6年次の履修については、配属教室と相談のうえ、5年次の2単位は4年次での修得可能とし、6年次前期の1単位は、5年次での修得または論文作成による修得を可能とする。

4. 成績評価の方法・基準

配属教室での活動、研究成果に基づき担当教員が100点満点で評価する。

5. 指導教員など

医学部基礎系教室等の教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

English Skills for Fourth Year Medical Students

Instructors: Luc Loosveldt
Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
<p>In this course, students will choose topics for discussion and study from a set of medical articles and videos. These will be discussed in small groups in which, students will fulfill different rotating roles designed to drive the group discussions and a series of small group projects. Focus will be on developing relevant and effective communication skills, fluency in spoken and written English, and reinforcing critical thinking skills in English.</p>	
Required Textbooks	
<ul style="list-style-type: none"> • Various readings and listening materials will be made available on the English Section's website, NU-minds. 	
Topics	
1	Introduction of the course and its materials; mini-talk: "How to Read to Maximize Learning"
2	First topic - how to read, how to explore, how to discuss; deciding the groups
3	First group discussion; first report
4	Short presentations + Q&A practice
5	Second topic; second group discussion
6	Second report; evaluating other groups' reports
7	Second Short Presentation followed by Q&A
8	Third topic; second group discussion
9	Third report; evaluating other groups' reports
10	Third Short Presentation followed by Q&A
11	Fourth topic; second group discussion
12	Fourth report; evaluating other groups' reports
13	Fourth Short Presentation followed by Q&A + Deciding on final project
14	Final group discussion + reviewing and preparing the final project
15	Final Poster sessions
Course work and Evaluation	
<p>Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, quizzes, group project, written work, and in-class and on-line participation. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.</p>	
<p><i>*The above syllabus is meant as a general guide of some of the topics that will be covered, not a definite time table.</i></p>	